令和６年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人山武市社会福祉協議会

目　　次

概要 ―――――――――――――――――――――――――――――― 1

重点項目 ―――――――――――――――――――――――――――― 1

１．助け合い意識の醸成と市民がつながる地域づくり促進　＊＊＊＊＊＊＊＊＊　1

２．権利擁護と自立支援の取り組み　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　1

３．社会福祉協議会の発展に向けた運営基盤の強化　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　2

事業 ―――――――――――――――――――――――――――― 3

１．地域福祉推進体制の充実・発展　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　3

【A】安心・安全な暮らしサポート　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　3

⑴　地域コミュニティ活動の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

①地区社会福祉協議会活動の支援　・・・・・・・・・・・・・・　3

②ふれあいいきいきサロンの支援　・・・・・・・・・・・・・・　4

⑵　在宅支援サービスの実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

①地域みまもりサービス事業の実施　・・・・・・・・・・・・・　5

②有料配食サービス事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・　5

③住民参加型在宅福祉（家事援助）サービス事業の実施　・・　6

④福祉用具貸出事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

⑤みんなの介護スクール事業の実施　・・・・・・・・・・・・・　7

⑶　移動手段の支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

①福祉輸送サービス事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・　8

②福祉カー貸付事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

③マイクロバスの貸出　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

⑷　災害時及び緊急時のサポート　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

①災害対策と災害当事者への支援事業の実施　・・・・・・・・１０

②交通遺児援護基金による見舞金等の交付　・・・・・・・・・１０

③災害当事者への見舞金の交付　・・・・・・・・・・・・・・・１０

【B】社会参加の場の提供　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊１１

⑴　市民の社会参加促進と福祉人材の育成　・・・・・・・・・・・・・・・１１

①ふくしのこころづくり講座の開催　・・・・・・・・・・・・・１１

⑵　社会活動の場と手段に関する支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

①山武市山武福祉センターの経営　・・・・・・・・・・・・・・１２

②山武市成東老人福祉センターの経営　・・・・・・・・・・・・１２

③おとこの料理教室事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・１３

④イベント開催のための物品の貸出　・・・・・・・・・・・・・１３

【C】豊かなくらしサポート　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊１４
⑴　支え合いと協働の地域づくり支援（生活支援体制整備事業）　・・・・１４
①第１層、第２層生活支援コーディネーターの設置　・・・・１４
②各種会議等の運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
③「互助の地域づくり」と「地域のつなぎ役」としての活動　１６
④地域力による介護予防活動の充実　・・・・・・・・・・・・・２０
⑵　住民参加・協働によるボランティア活動の推進・・・・・・・・・・・・・２１
①ボランティア活動の相談・支援　・・・・・・・・・・・・・・２１
②各種ボランティア・市民活動講座等の開催　・・・・・・・・２３
③おもちゃ図書館の開館　・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
④福祉教育の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
２．日常生活を支援するサービスの充実　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊２８
⑴　権利擁護と自立支援の取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
①成年後見推進事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
②日常生活自立支援事業の実施（愛称：すまいる）　・・・・２９
③法人後見事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
④生活困窮者自立支援制度事業の充実・強化　・・・・・・・・３６
⑤各種資金の貸付等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
⑵　総合的な相談機能の取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
①心配ごと相談所の設置　・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
②苦情解決相談の受付　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
③虐待通報の受付　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
３．自立生活を支援するサービスの提供　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊４８
⑴　介護サービス関連の取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８
①介護保険法に基づく第１号訪問事業（訪問型サービスA）の実施４８
⑵　障害福祉サービス関連の取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８
①移動支援事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８
②山武市福祉作業所の経営　・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
③山武市簡易マザーズホームの経営　・・・・・・・・・・・・・５２
④障害福祉サービス事業所の取り組み　・・・・・・・・・・・・５４
４．社会福祉協議会の基盤強化　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊５７
⑴　組織・運営に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５７
①評議員会・理事会・監査機能の充実　・・・・・・・・・・・５７
②委員会機能の充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５９
③事務局体制の見直し　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０

④社会福祉協議会発展・強化計画の推進　・・・・・・・・・・６０
⑤事務所の検討　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０
⑵　財務に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６１
①月次収支状況の分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・６１
②指定管理施設の運営分析　・・・・・・・・・・・・・・・・６１
③会員加入促進（会員募集）　・・・・・・・・・・・・・・・６１
④赤い羽根共同募金運動の実施　・・・・・・・・・・・・・・６２
⑤歳末たすけあい募金運動の実施　・・・・・・・・・・・・・６３
⑥日本赤十字社社資募集運動の実施　・・・・・・・・・・・・６４
⑦チャリティイベントの実施　・・・・・・・・・・・・・・・６４
⑧自主財源の確保（その他）　・・・・・・・・・・・・・・・６５
⑨寄附金品　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６５
⑶　人材確保・育成に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・６６
①人材確保・育成（実習生の受け入れ）　・・・・・・・・・・６６
②役職員研修会の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・６６
③職員研修会の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６７
⑷　広報・啓発に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６８
①広報誌「きずな」の発行　・・・・・・・・・・・・・・・・６８
②リーフレット・チラシの作成　・・・・・・・・・・・・・・６８
③ホームページの充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・６８
④第 19 回山武市社会福祉大会の開催　・・・・・・・・・・・６９
⑤第 14 回山武市健康福祉まつりの実施　・・・・・・・・・・７０
⑥出前講座の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７０
⑸　福祉団体の支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７２
①山武市ボランティア連絡協議会　・・・・・・・・・・・・・７２
②山武市身体障害者福祉会　・・・・・・・・・・・・・・・・７２
③山武市手をつなぐ親の会　・・・・・・・・・・・・・・・・７２
④山武市赤十字奉仕団　・・・・・・・・・・・・・・・・・・７３
⑤山武市ゴールドクラブ連合会　・・・・・・・・・・・・・・７３
⑹　第４次地域福祉活動計画の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・７４
①山武市地域福祉活動計画推進委員会　・・・・・・・・・・７４
②地域共生社会の推進と地域包括ケアシステムの構築　・・７５

令 和 6 年 度 事 業 報 告

【 概　要 】

令和６年度は、コロナ禍後の地域福祉活動をより活発化するため、市や関係機関と連携しながら積極的に住民参加による地域福祉活動を展開しました。

コロナ禍で途絶えた繋がりを再構築するため、地区社会福祉協議会の活動推進や高齢者のこころとからだの健康づくりを推進する事業、市民が集い交流する場として指定管理施設の活用促進に取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症に係る緊急小口資金等の生活福祉資金特例貸付債権管理業務では、コロナ禍後も困窮状態が続き償還が困難な借受人へ、電話や訪問等による状況確認や償還に関する相談などの支援を実施しました。

社会情勢が変化する中、社会福祉協議会が担う役割も複雑かつ多様化しています。これからも、新たに取り組むべき課題やニーズを的確に捉え、地域共生社会の実現に向け、地域福祉の推進に取り組んでいきます。

【重点項目】

１．助け合い意識の醸成と市民がつながる地域づくり促進

・第４次地域福祉活動計画の令和５年度活動評価を行う中で新たに地区別計画の評価基準を策定し、地区社会福祉協議会の活動を通じて地域活動の評価を実施することができました。評価基準を設けることで、６年度以降の地域活動を確認し、従来活動の拡充と新しい福祉活動の展開を推進することにつながりました。

・地域で福祉活動を行うために役立つ知識や社会福祉協議会の事業などを学び、自ら地域福祉活動に取り組む人材を育成する「福祉のこころづくり講座」を開催しました。従来の市民に向けた講座とともに、安心して暮らすために必要な福祉活動について市民の方々に理解していただく機会になりました。

２．権利擁護と自立支援の取り組み

⑴　成年後見制度の利用促進

・成年後見制度の相談内容も多様化になり、関係機関との連携を取りながら個別相談の継続対応により利用促進に努めることができました。

・後見人の高齢化等により退任される方からの相談などもあり、後見人不足から法人後見に対する期待も高まっています。

⑵　生活困窮者自立支援制度事業の充実・強化

・生活就労相談室に職員３名を配置し、生活困窮者に対し、本人の状態に応じた包括的な相談支援を実施しました。令和６年度も多くの新規相談があり、相談者はそれぞれ異なる複合的な課題を抱えているため、関係機関の協力を得ながら、その状況に応じた包括的な支援に努めました。

３．社会福祉協議会の発展に向けた運営基盤の強化

⑴　発展・強化計画の推進

・第４次地域福祉活動計画との整合性を持ちながら計画を推進するように取り組みました。特に、こころとからだの健康づくりの推進、助け合いのこころづくりの充実、誰もが支え手となれるような取り組み推進につながる活動ができました。

・SDGｓ（持続可能な開発目標）の意識づくりに努め、ペットボトルキャップやアルミ缶などの資源リサイクルに協力する市民協力者が増えました。

⑵　人材の確保・育成・定着

・多様化する福祉ニーズに対応するため、業務の効率化を図るとともに、事業が安定的に継続できるよう人材の確保及び育成に努めました。

⑶　社会福祉法人の健全な運営

・理事会を業務執行に関する意思決定機関として位置付け、事業をすすめました。

・安定した法人運営を行うため、毎月収支状況の確認及び分析を行い、事業に見合った適正な支出管理に努めました。

【事業】

１．地域福祉推進体制の充実・発展
【Ａ】安心・安全な暮らしサポート

⑴　地域コミュニティ活動の推進

①地区社会福祉協議会活動の支援

目的と概要	小地域の地域福祉活動を推進するため市内１３の地区に地区社会福祉協議会を設置し、市民の福祉の増進を図ることを目的に当該地区の実情に即した地域福祉活動の支援を行いました。
考　察	新型コロナウイルス感染症が収束し、各地区社会福祉協議会の活動が活発に実施されるようになりました。財源である会費や法人募金が減少し地区社会福祉協議会の運営費にも影響が出てきています。そのような状況の中、各地区社会福祉協議会では、地域の高齢化が進み事業対象者が増加していますが、工夫しながら活動をすすめています。
設置数等	成東地域　５か所（成東地区・大富地区・南郷地区・鳴浜地区・緑海地区） 山武地域　４か所（睦岡地区・山武北地区・日向東地区・日向西地区） 蓮沼地域　１か所（蓮沼地区） 松尾地域　３か所（豊岡地区・松尾地区・大平地区） 合計　１３か所
実　績	＜地区社協連絡会＞ 【第１回】 期　日　令和６年　６月１３日（木） 場　所　成東老人福祉センター　大会議室 【第２回】 期　日　令和６年　９月　５日（木） 場　所　成東老人福祉センター　大会議室 【第３回】 期　日　令和６年１２月　５日（木） 場　所　成東老人福祉センター　大会議室 【第４回】 期　日　令和７年　３月　６日（木） 場　所　成東老人福祉センター　大会議室 ＜地区社協役員情報交換会＞　参加者　７６人 期　日　令和６年１０月３０日（水） 場　所　松尾 IT 保健福祉センター　多目的室 内　容 ・全体会：地区社協活動と補助金について説明 ・分科会：各役職別に分かれ研修 ※分科会終了後、再度集まり情報共有を行う 懇親会：有志により「ニュー太洋」で交流会を開催

	＜地区社協福祉推進員研修会＞　参加者　５８人 期　日　令和７年　２月１４日（金） 場　所　農村環境改善センター松尾ふれあい館　多目的ホール 内　容 ・相続の手続きの流れとキホン」～将来に備えて知っておこう～ 千葉県行政書士会東総支部長　あらい行政書士事務所　新井勇輝　氏 ＜城西国際大学看護学部ボランティア実習受入れ＞ 受 入 期 間　令和６年 ６月 ～ １２月 受入地区社協　１０地区社協（大富、鳴浜、南郷、松尾、豊岡、大平 睦岡、山武北、日向東、日向西） 受 入 者 数　７０人

②ふれあいいきいきサロンの支援

目的と概要	子どもから高齢者が地域の中で楽しい仲間づくりを進めることにより、いきいきした活力や生きがいを得ることを目的として、ふれあいいきいきサロン事業の推進を行いまいした。
考　察	引続き感染予防に努め開催したサロンが多くみられました。また、運営ボランティアの高齢化及び担い手不足により解散となる団体もありました。今後も市内全体にサロンが増えるようＰＲ活動に努めていきます。
実　績	補助金交付　１９か所のサロン（前年度２３か所のサロン）

＜ふれあいいきいきサロン研修会＞

期　日	令和７年３月５日（水）
会　場	成東老人福祉センター　大会議室
参加者	参加者１４名・事務局２名
内　容	①社会福祉協議会の貸出物品・レクリエーション用具について ②グループ交流及び情報交換会

⑵　在宅支援サービスの実施

①地域みまもりサービス事業の実施

目的と概要	月１回定期的に高齢者宅を訪問することで地域との交流を促進し、孤独感の解消を図るとともに安否確認を行うことを目的に各地区で実施しました。
考　察	新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、例年どおり実施しました。
実　績	民生委員や福祉推進員が安否確認のためにお弁当または軽飲料を持参し訪問しました。

地域名	利用者数	実施回数	延べ利用者数	延べ訪問協力者数	前年度利用者数	前年度延べ利用者数
成東地域					1 名	10 名
山武地域	19 名	12 回	184 名	126 名	18 名	207 名
松尾地域	2 名	12 回	20 名	24 名	3 名	28 名
合　計	21 名	24 回	204 名	150 名	22 名	245 名

②有料配食サービス事業の実施

目的と概要	日常生活に支障のある市内に居住するひとり暮らし高齢者、高齢者世帯及び心身障がい者を対象とし、生活状態や健康状況、経済状態等を考慮し、食生活の確保、改善を通して健康保持を図り、在宅生活を支えることを目的として実施しました。
考　察	定期的に訪問することで、利用者の体調の変化に気づくことができます。利用者が少なくなっているので事業の周知を図っていきます。
実　績	各地域の事業者へ弁当の製造と配達を依頼し、対象者への支援活動を実施しました。【※蓮沼地域及び松尾地域はボランティアが配達】

地域	配達回数（日）	利用者（3 月末）	延べ利用者数	延べ配食数（内補助有）	委託業者	前年度利用者（3 月末）
成東	102 回	7 名	83 名	500 食 (500 食)	・みっちゃんのなおや ・まごころ弁当山武店	7 名
山武	92 回	3 名	61 名	246 食 (244 食)	・光明会	9 名
蓮沼	25 回	2 名	14 名	50 食 (50 食)	・みっちゃんのなおや ・まごころ弁当山武店	0 名
松尾	100 回	2 名	24 名	180 食 (180 食)	・みっちゃんのなおや ・油屋トトズキッチン ・まごころ弁当山武店	2 名
合計	319 回	14 名	182 名	976 食 (974 食)		18 名

※物価高騰により、１０月から１食６００円、配達料１件６０円に料金の改定を実施しました。

③住民参加型在宅福祉（家事援助）サービス事業の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>支援を必要とする方に対して、日常の生活支援（買物や手続きの代行・住居の掃除・食事の支度・見守りや話し相手・外出付添い等）を行うサービスを提供しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>本年度も継続して新型コロナウイルス感染拡大防止に努め事業を実施しました。
また、協力会員が不足しているため、今後も協力会員の確保に努めていきます。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>【会員数】
<table>
<tr><td>地　域</td><td>成東</td><td>山武</td><td>蓮沼</td><td>松尾</td><td>計</td><td>前年度</td></tr>
<tr><td>利用会員</td><td>16</td><td>18</td><td>3</td><td>3</td><td>40</td><td>32</td></tr>
<tr><td>協力会員</td><td>10</td><td>4</td><td>0</td><td>2</td><td>16</td><td>20</td></tr>
</table>
【活動実績】
<table>
<tr><td>地　域</td><td>成東</td><td>山武</td><td>蓮沼</td><td>松尾</td><td>計</td><td>前年度</td></tr>
<tr><td>延べ
活動回数</td><td>100</td><td>79</td><td>0</td><td>18</td><td>197</td><td>274</td></tr>
</table>
＜協力会員研修会＞
・期　日　令和７年３月１日（土）
・場　所　成東老人福祉センター　大会議室
・参加者　１２名（輸送サービス協力会員含む）</td></tr>
</table>

④福祉用具貸出事業の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>介護保険非該当者等に福祉用具を貸出し、在宅介護及び日常生活を支援し福祉サービスの向上を図ることを目的に行いました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>車いすに劣化がみられたため、自走式１台及び介助式２台を購入しました。
今後も、車いすの貸出と返却の際に車いすの状態を確認し、不具合等があった場合は修理するなど、安全に貸出ができるように努めていきます。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>
<table>
<tr><td>福祉用具名</td><td>貸出件数</td><td>延べ貸出台数</td><td>前年度
貸出件数</td><td>前年度
延べ貸出台数</td></tr>
<tr><td>車椅子</td><td>１１７件</td><td>１４４台</td><td>９１件</td><td>１１７台</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

⑤みんなの介護スクール事業の実施

<table>
<tr><td colspan="2">目的と概要</td><td>介護について関心のある方に対し、介護などに関する講習会を行うことにより介護の知識、技術を身につけ、もって在宅福祉の推進を図ることを目的に実施しました。</td></tr>
<tr><td colspan="2">考　察</td><td>介護保険制度について、制度の成り立ちから申請手続きまでの流れ、また、介護認定によりどのようなサービスが利用できるか初歩的な内容で実施ました。
今後も、事業の周知方法を考え、多くの市民が参加するような企画内容に努めていきます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">第1回</td><td>期　日</td><td>令和７年２月２７日（木）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>成東老人福祉センター　大会議室</td></tr>
<tr><td>参加者</td><td>１９名</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td>講義
「介護保険制度について　～知って得する介護保険の活用方法～」
講師：山武市松尾蓮沼包括支援センター長　　鳥海　智敬　氏</td></tr>
<tr><td rowspan="4">第2回</td><td>期　日</td><td>令和７年３月１３日（木）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>成東老人福祉センター　大会議室</td></tr>
<tr><td>参加者</td><td>１６名</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td>◎講義
「初めて迎える介護　～事前の知識で介護不安の解消～」
講師：株式会社いずみ
グループホームなるとう管理者　地引　徹　氏
小規模多機能型居宅介護なるとう管理者　秦　裕美　氏
◎施設見学　・小規模多機能型居宅介護なるとう
・グループホームなるとう</td></tr>
</table>

⑶　移動手段の支援

①福祉輸送サービス事業の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>単独で公共交通機関の利用が困難な移動困難者（介護保険認定者、身体障害手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳所持者等）に対して外出支援を行うサービスを提供しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>継続して新型コロナウイルス感染拡大防止に努め事業を実施しました。
運転者講習会を開催し、協力会員の確保につながりましたが、まだ協力会員が不足しているため、今後も協力会員の確保に努めていきます。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>【会員数】
<table>
<tr><td>地 域</td><td>成東</td><td>山武</td><td>蓮沼</td><td>松尾</td><td>計</td><td>前年度</td></tr>
<tr><td>利用会員</td><td>37</td><td>45</td><td>17</td><td>28</td><td>127</td><td>130</td></tr>
<tr><td>協力会員</td><td>14</td><td>7</td><td>4</td><td>5</td><td>30</td><td>28</td></tr>
</table>
【活動実績】
<table>
<tr><td>地 域</td><td>成東</td><td>山武</td><td>蓮沼</td><td>松尾</td><td>計</td><td>前年度</td></tr>
<tr><td>延べ
活動回数</td><td>1,063</td><td>878</td><td>204</td><td>656</td><td>2,801</td><td>2,956</td></tr>
</table>
＜福祉有償運送運転者講習及びセダン等運転者講習会＞
期　日　　令和６年１１月１６日（土）～１７日（日）
場　所　　成東老人福祉センター　大会議室
修了者　　８名
登録者　　協力会員登録６名

＜協力会員研修会＞
・期　日　令和７年３月１日（土）
・場　所　成東老人福祉センター　大会議室
・参加者　１２名（家事援助サービス協力会員含む）</td></tr>
</table>

②福祉カー貸付事業の実施

目的と概要	心身障がい者及び高齢者の社会参加を促進し、福祉の向上を図ることを目的に車両の貸出しを行いました。
考　察	貸出車両の消毒、清掃を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めました。 車両が古くなり細かな不調がみられるようになってきたため、新たな車両の導入などの検討が必要と思われます。
実　　績	

車両名		一般貸出	福祉輸送	合計	前年度合計
		件数	件数	件数	件数
ゆうあい成東号（キャラバン）		２１	２５	４６	４５
ゆうあい山武号（キャラバン）		５	１	６	１５
ゆうあい蓮沼号（キューブ）		７６	２	７８	９０
ゆうあい松尾号（キャラバン）		６	３	９	１５
福祉車両	エブリイ（事務局）	１０４	７	１１１	８７
福祉車両	Ｎ－ＢＯＸ（松尾連絡所）	６３	２５	８８	７６
介護車両	ワゴンＲ（山武連絡所）	０	１６１	１６１	１５８
介護車両	ムーヴ（蓮沼連絡所）	０	５０	５０	１１０
合計		２７５	２７４	５４９	５９６

③マイクロバスの貸出

目的と概要	地区社会福祉協議会や社会福祉団体等が実施する事業などへマイクロバスの貸出しを行いました。
考　察	車両の消毒、清掃を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めました。 また、不具合箇所の修理を行いました。経年劣化の部分もみられるため、継続して必要な部分を修理していきます。
実績	

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
回数	1	1	11	1	0	2	1	4	4	4	4	7	40	43

⑷　災害時及び緊急時のサポート

①災害対策と災害当事者への支援事業の実施
＜災害支援ボランティア講座の開催＞

目的と概要	災害支援ボランティア活動に対する知識と理解を深め、ボランティアとしての意欲の高揚や資質向上を図り、参加者が地域のリーダーとなって活動することで、地域防災の増進に寄与することを目的として開催しました。
考　察	山武市防災士会の防災士を講師に迎え、クロスゲームやグループワークを行い、防災意識を高めるとともに、防災知識の普及活動に努めました。 市民の防災意識を保つためにも、継続開催していくことが望ましいと考えます。
共　催	山武市市役所消防防災課 山武市防災士会 山武市ボランティア連絡協議会
期　日	令和６年１１月２４日（日）
場　所	成東文化会館のぎくプラザ
参加者	３２名
内　容	防災士によるクロスゲーム、市消防防災課による防災講話

②交通遺児援護基金による見舞金等の交付

目的と概要	陸上交通事故などで父母等を失った１８歳未満の交通遺児激励のため、教育委員会を通じて対象となる方を調査し、交通遺児見舞金及び中学卒業祝いの激励金を交付しました。
考　察	今年度新たに１家族３名の方が交通遺児の対象となりました。親権者の方へ見舞金を交付した際、交通遺児援護基金の制度を説明し激励金等についてご理解いただきました。
実　績	・交通遺児見舞金の交付　　１件 ・中学卒業祝い激励金の交付　　１名

③災害当事者への見舞金の交付

目的と概要	火災、風水害及び地震その他自然災害による被災者で援護を必要とする者を救済するため、見舞金を交付しました。（社協災害見舞金・共同募金会災害見舞金・赤十字災害救援見舞金各規程に基づく）
実　績	全焼９件（１件当たり市社協 50,000 円、共同募金 10,000 円、赤十字 5,000 円及び物資） 半焼３件（１件当たり市社協 30,000 円、共同募金 5,000 円、赤十字 5,000 円及び物資） 半壊１件（１件当たり市社協 30,000 円、共同募金 5,000 円、赤十字 5,000 円及び物資）

【Ｂ】社会参加の場の提供

⑴　市民の社会参加促進と福祉人材の育成

①ふくしのこころづくり講座の開催

目的と概要	地域で福祉活動を行うために役立つ知識や社会福祉協議会の事業などを学び、自ら地域福祉活動に取り組む人材を育成するため開催しました。
考　察	社会福祉協議会広報紙により事業周知し、他事業共に連携した講座となるように取り組みました。しかし、参加者はそれぞれの講座の受講のみとなり、総括となるまとめの講座に参加を希望する方がいませんでした。同じ時期に行う講座も含め、一体的な取り組みとなるように事前調整が必要であると考えます。
実　績	＜ふくしのこころづくり講座① ～安心して暮らし続けるために知っておきたい事～＞ 期　日　令和６年１０月２５日（金） 場　所　山武市文化会館のぎくプラザ　第１会議室 内　容　・講義：みなさんが安心して暮らすためには？ ・グループワーク ・市役所たんけん（企画財政課・高齢者支援課、健康支援課） ・まとめのお話し 参加者　５名 ＜ふくしのこころづくり講座② 安心相続勉強会～親族で揉めないために～＞ 期　日　令和６年１１月２７日（水） 場　所　山武市文化会館のぎくプラザ　第１会議室 内　容　・講義：「安心相続勉強会」 ・質問コーナー 参加者　６名 ※その他、傾聴講座、福祉有償運送運転者講習会、スマホ講座と連携周知

⑵　社会活動の場と手段に関する支援

①山武市山武福祉センターの経営

目的と概要	施設の設置目的である地域住民の福祉の推進及び福祉意識の高揚を図る場として、会議室等の貸出を行いました。
考　察	利用者が安心して施設利用できるように努めました。 福祉センターとしての役割を意識し、悩み事を抱えて来所した市民には、適切な窓口の案内を行うなど、福祉センターとしての役割を意識し、業務に取り組んでいきます。
利用実績	施設利用実績　　２，０７７名（前年度　２，００４名） 貸出延べ回数　　６７３回（前年度　　６９１回）
避難訓練	【自主訓練】 期　日　令和７年３月２７日（木）
その他	市担当課による評価モニタリングが実施されました。 期　日　令和７年１月３１日（金）（市担当課２名・職員２名）

②山武市成東老人福祉センターの経営

目的と概要	施設の設置目的である高齢者の健康増進、教養の向上並びにレクリエーションの場として、会議室等の貸出及び自主事業を開催しました。
考　察	利用者が安心して施設利用ができるように努めました。 自主事業では、高齢者の健康志向の高まりから動きのあるシニアヨガを実施しました。 今後も多くの団体に利用していただけるよう安心安全に気を配り、高齢者の健康増進等に貢献できるよう取り組んでいきます。
利用実績	施設利用実績　　８，９９９名（前年度　９，６１０名） 貸出延べ回数　　７３３回（前年度　　７０７回）
避難訓練	【第１回】※東消防署員立会いのもと実施 期　日　令和６年　６月２７日（木） 参加者　成東老人福祉センター・簡易マザーズホーム・成東福祉作業所 【第２回】※東消防署員立会いのもと実施 期　日　令和６年１２月１９日（木） 参加者　成東老人福祉センター・簡易マザーズホーム・成東福祉作業所
自主事業等	＜高齢者向けの「はじめてのヨガ教室」＞ 期　日　２月７日・２月１２日・２月２１日・２月２８日・３月７日・３月１７日（全６回） 参加者　１２名（延べ５５名） ＜自主団体への協力＞ ○脳トレ健康教室 ○健康麻雀教室等
その他	市担当課による評価モニタリングが実施されました。 期　日　令和７年１月２８日（火）（市担当課２名・職員３名）

③おとこの料理教室事業の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>料理（調理）の知識や経験の少ない男性（概ね６０歳以上）を対象に基本的な指導を行う初級講座を開催しました。この講座は、自身の食生活自立及び家族の健康を保つ一助とすることを目的に実施し、仲間作りや親睦を図りました。また、中級講座修了者が設立した料理教室の支援を実施しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>中級講座修了者及び地域の高齢者が集い交流できる居場所づくり事業において設置した料理教室を円滑に運営できるよう支援しました。初級講座は、今後も調理経験の少ない方を対象に実施し、調理をとおして社会参加できるよう社会福祉協議会が実施するイベント等への参加に繋げていきます。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>○初級講座
実施場所　　：　松尾ＩＴ保健福祉センター調理室
会員人数　　：　５名
実施回数　　：　８回
参加延べ人数：　３３名

○中級講座修了者への支援
<table>
<tr><th>会場</th><th>場　　所</th><th>支援回数</th><th>会員数</th><th>参加延べ人数</th></tr>
<tr><td>山武</td><td>さんぶの森中央会館調理実習室</td><td>１２</td><td>１２</td><td>９６名</td></tr>
<tr><td>蓮沼</td><td>蓮沼交流センター調理室</td><td>１２</td><td>１２</td><td>９７名</td></tr>
<tr><td>松尾</td><td>松尾ＩＴ保健福祉センター調理室</td><td>１１</td><td>２０</td><td>１４０名</td></tr>
<tr><td colspan="2">合　計</td><td>３５回</td><td>４４</td><td>３３３名</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

④イベント開催のための物品の貸出

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>地域福祉活動（交流）を目的としたイベントなどを中心に物品貸出しを行いました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>前年度より貸出件数は微増しましたが、コロナ禍前と比べるとイベント等の開催が少ないため、物品の貸出件数も少ない状況です。
今後イベント等の開催が緩やかに増加することが考えられますので、貸出物品の周知に努めます。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>
<table>
<tr><th>物品名</th><th>貸出件数</th><th>前年度貸出件数</th><th>物品名</th><th>貸出件数</th><th>前年度貸出件数</th></tr>
<tr><td>ポップコーン製造機</td><td>3 件</td><td>2 件</td><td>もちつき機</td><td>1 件</td><td>1 件</td></tr>
<tr><td>わたあめ製造機</td><td>2 件</td><td>1 件</td><td>ステージ用具(平台)</td><td>3 件</td><td>1 件</td></tr>
<tr><td>かき氷機（電動）</td><td>13 件</td><td>12 件</td><td>ステージ用具(コンテナ)</td><td>1 件</td><td>1 件</td></tr>
<tr><td>鉄板（ガス用）</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>天幕テント</td><td>3 件</td><td>5 件</td></tr>
<tr><td>発電機</td><td>4 件</td><td>2 件</td><td>机（長テーブル）</td><td>7 件</td><td>6 件</td></tr>
<tr><td>臼・杵</td><td>2 件</td><td>2 件</td><td>イス</td><td>8 件</td><td>8 件</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

【C】豊かなくらしサポート

⑴　支え合いと協働の地域づくり支援（生活支援体制整備事業）

①第１層、第２層生活支援コーディネーターの設置

＜生活支援コーディネーターの配置＞

目的と概要	地域高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みを推進するために第１層（市域）生活支援コーディネーター１名（社協職員）を配置しました。 また、小域の地域活動を調査し、その活動支援と多様な活動者同志のつながり作りを行う第２層（小地域）の生活支援コーディネーター３名（市民）を配置しました。
考　察	第１層生活支援コーディネーターとして、引き続き地域活動者の支援と関係者間のネットワークづくり、新たな社会資源の開発に関する活動を行いました。 また、第２層生活支援コーディネーターは、個別ケースの高齢者が希望する地域とのつながりについて社会資源をつなぐコーディネート業務を実施するともにその社会資源の情報収集と見直しを行いました。 今後、更に個別ケースの事案に対する支援ニーズが高まると考えられます。
実　績	○地域の生活支援サービスに係るニーズ及び地域資源の把握 ・地域ケア会への参加、社会資源の発掘 ○生活支援サービスに係る関係者間のネットワークの構築 ・転倒骨折予防プロジェクトへの参画 ○地域ニーズとサービスのマッチング ・個別ケース支援に関する助言やコーディネート ○地域に不足する生活支援サービスの創出に係る検討及び調整 ・移動問題に関する協議、認知症啓発及び支援活動 ○一般のサービスの担い手となるボランティア等の養成 ・福祉のこころづくり講座の実施 ○第２層コーディネーターの個別ケース支援

②各種会議等の運営と参加

＜山武市地域包括支援センター運営協議会部会(やさしいおもいでささえあおう会)の運営＞

目的と概要	高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って安心して在宅生活を継続していくために、医師、地域の生活支援・介護予防サービスを担う施設や事業所、福祉関係団体、ボランティア活動団体等と連携し協議するため、会議を開催しました。
考　察	やさしいおもいでささえあおう会（協議体）の開催については、これまで多くの関係者が集まり具体的な活動をしていく参集型会議としてきましたが、生活支援コーディネーターが抱えきれない個別の課題について協議していくものとなりました。 今後は、地域包括圏域ごとに必要な関係者が集まり開催することになりましたので、全体的には年１回調整会議を開催するように検討しています。

実　績	○第１層協議体「やさしいおもいでささえあおう会」書面会議の開催 ・書面にて、これまでの活動報告と介護保険制度の改正による協議体の今後の運営方針にて説明。念のため意見徴収のための意見交換会も開催。 ＜意見交換会＞ 期　日　　令和７年３月２８日（金） 場　所　　成東保健福祉センター　総合検診室 内　容　　資料の説明及び今後のすすめ方について意見交換 参加者　　や さ お も 会：秋葉会長 社会福祉協議会：並木会長 高 齢 者 支 援 課：山倉係長 瓜生第１層生活支援コーディネーター 社会福祉協議会：須田第１層生活支援コーディネーター ○「認知症問題への取組み」検討チームとして、市の『認知症啓発イベント』映画上映会の周知と運営を支援しました。 ＜映画上映会＞ 期　日　　令和６年１０月３１日（木） 場　所　　成東文化会館のぎくプラザ　ホール 内　容　　映画上映と認知症啓発の掲示物等の設置 参加者　　１４５名

＜地域ケア会議への参加＞

目的と概要	地域包括支援センターが主催し、歯科医師、理学療法士、作業療法士、薬剤師、主任ケアマネ、栄養士、地域包括職員等が集い、介護予防サービス等の支援を受けている高齢者の自立支援に向けた会議へ、生活支援コーディネーターとして参加し、対象者が地域で豊かに生活できるよう地域活動やサービスの紹介とつなぎ役として助言を行いました。
考　察	個別ケースから同様の課題を持つ人達が地域にいると意識して会議に参加し地域課題の解決に向けた仕組みづくりを検討しました。 ケアマネージャーからの個別ケースは本人の意欲や意思確認が必要な場合が多く、生活支援コーディネーターとしてどこまで介入すべきか考えるよい機会となりました。また、地域ケア会議後に関係者のランチミーティングを開催することで意識の共有がすすみました。
実　績	《地域ケア会議》 １０回開催（令和６年５月から令和７年２月まで） ※各回２つの個別ケース事例について協議し意見交換を行いました。 《生活支援コーディネーター及び関係者ランチミーティング》 ９回開催（令和６年６月から令和７年２月まで） ※地域ケア会議の事例を深め第１層、第２層生活支援コーディネーターの活動について意識及び情報の共有を行いました。

＜地域包括支援センター運営協議会への参加＞

目的と概要	市地域包括支援センターの運営に関して協議する会議に、生活支援コーディネーターとして参加しました。
考　察	市内３つの地域包括支援センターの活動や運営に関し報告を受け協議をする中で、市の活動状況を把握し地域福祉活動とのつなぎ役としての課題を整理するように努めました。
実　績	○第１回山武市地域包括支援センター運営協議会 令和６年　８月　１日（木）　市役所会議室

③「互助の地域づくり」と「地域のつなぎ役」としての活動

＜転倒骨折予防プロジェクトへの参画と協働事業の実施＞

目的と概要	山武市と筑波大学が協働で行う「転倒骨折予防プロジェクト」へ参画し、転倒し骨折から重度の介護状態となる市民を減らすための取り組みを実施しました。高齢者が自分の体の現在の状況を把握し、今後の健康づくりに役立ててもらうための「生活機能モニタリング測定会」や高齢者に介護予防や転倒リスクについて考えてもらえる機会を提供する「いきいきわくわく教室」、日常生活に生きがいを持つことで健康維持の意欲を高め自分の希望する活動につながるように情報提供するための「はなまるサロンさんむ」を実施しました。
考　察	○生活支援コーディネーターとして転倒やフレイルの心配がある地域住民を積極的に「生活機能モニタリング測定会」への参加につなげることができました。また、地域の集いの場運営者が主体的に関わり「集いの場運営者主催の生活機能モニタリング測定会」を開催することができ新たな取り組みとなりました。 ○「いきいきわくわく教室」も他機関と連携しながら順調に開催することができました。 ○各活動が充実してきた中で、更に市民が主体的に健康づくりをすすめる仕組みづくりを進めていく必要があると考えます。特に若年層から健康づくりに意識を持つ市民を増やすことが課題です。
実　績	≪関係者会議≫ 期　日　　毎月第１木曜日　リモート会議を開催 参加者　　陣内教授、高齢者福祉係、地域包括支援センター、図書館、 ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ、さんむ医療ｾﾝﾀｰ、千葉ﾚｸ都市開発（株） 第１層、第２層生活支援コーディネーター ＜生活機能モニタリング測定会＞ 期　日　　原則月１回　毎回約２０名の測定を実施 会　場　　蓮沼交流センター　１階　イベントスペース 内　容　　測定種目：身長・体重、体組成、骨強度、握力、立ち上がり、構音、嚥下、聴力、視力、巧緻、姿勢保持、移動 相談ｺｰﾅｰ：測定結果を踏まえ健康づくり生きがいづくりのアドバイスを行う

実　績	＜集いの場運営者との意見交換交流会＞ 期　日　　令和６年　４月１７日（水） 会　場　　松尾 IT 保健福祉センター 内　容　　山武地区の集いの場運営者との意見交換会 ・４グループ６名、陣内先生、高齢者支援課、社会福祉協議会 ＜集いの場運営者等主催の生活機能モニタリング測定会＞ 期　日　　令和７年　２月２６日（水） 会　場　　さんぶの森元気館 内　容　　測定種目：身長・体重、体組成、骨強度、握力、立ち上がり、構音、嚥下、聴力、視力、巧緻、姿勢保持、移動 相談ｺｰﾅｰ：測定結果を踏まえ健康づくり生きがいづくりのアドバイスを行う ※集いの場運営者ができる限り各測定に携わる試験的測定会 ＜いきいきわくわく教室＞※ゴールドクラブ主催事業と協同実施 【第１回】 期　日　　令和６年　６月　７日（金） 会　場　　松尾ふれあい館 参加者　　８５人 内　容　　講演：「転倒骨折から骨を守ろう！」 さんむ医療センター骨粗鬆症リエゾンサービス委員会 〃　ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ課　理学療法士　相内一成 氏 〃　栄養課　管理栄養士　盛　晃彦 氏 〃　薬剤課　薬　剤　師　櫻田洋介 氏 各ブース：・ＧＣレク（ﾋﾞｰﾝﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ・室内ﾍﾟﾀﾝｸ・会員募集） ・千葉薬品（健康チェック体組成・骨密度） ・福祉作業所（手作り品の販売） ・ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ（小物販売・健康ﾁｪｯｸ視力・握力） ・成東図書館（スタンプラリー・しおり作り） 【第２回】 期　日　　令和６年　８月２１日（水） 会　場　　成東文化会館のぎくプラザ 参加者　　５７人 内　容　　講演：「専門家に聞いてみよう！高齢者の病気とその予防」 さんむ医療センター生活習慣病対策委員会 さんむ医療センター　看　護　師　小倉和樹 氏 〃　理学療法士　渡邉慎也 氏 各ブース：・ＧＣレク（ﾋﾞｰﾝﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ・室内ﾍﾟﾀﾝｸ・会員募集） ・千葉薬品（健康チェック体組成・骨密度） ・福祉作業所（手作り品の販売） ・ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ（小物販売・健康ﾁｪｯｸ視力・握力） ・成東図書館（スタンプラリー・しおり作り） 【第３回】 期　日　　令和６年１０月　９日（水） 会　場　　さんぶの森中央体育館 参加者　　７９人 内　容　　講演：「みんなで伸ばそう健康寿命」 季美の森ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院　理学療法士　川村雄輔　氏

	各ブース：・ＧＣレク（ﾋﾞｰﾝﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ・室内ﾍﾟﾀﾝｸ・会員募集） ・千葉薬品（健康チェック体組成・骨密度） ・福祉作業所（手作り品の販売） ・ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ（小物販売・健康ﾁｪｯｸ視力・握力） ・成東図書館（スタンプラリー・しおり作り） 【第４回】 期　日　令和６年１２月１３日（金） 会　場　蓮沼交流センター 参加者　５２人 内　容　講演：「脳の健康チェック！いろんな認知機能診断」 九十九里病院　ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ課　作業療法士　芝井孝祐　氏 各ブース：・ＧＣレク（ﾋﾞｰﾝﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ・室内ﾍﾟﾀﾝｸ・会員募集） ・千葉薬品（健康チェック体組成・骨密度） ・福祉作業所（手作り品の販売） ・ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ（小物販売・健康ﾁｪｯｸ視力・握力） ・成東図書館（スタンプラリー・しおり作り） ・ベルスズキ（補聴器の相談） ＜はなまるサロンさんむ＞ 期　日　第１回：令和６年　５月１５日（水）10:00～12:00 21 人 第２回：　〃　７月１７日（水）　〃　22 人 第３回：　〃　９月　４日（水）　〃　19 人 第４回：　〃　１１月１３日（水）　〃　20 人 第５回：令和７年　１月２２日（水）　〃　12 人 第６回：　〃　３月１９日（水）　〃　17 人 会　場　成東文化会館のぎくプラザ 内　容　読み語り、おしゃべり＆相談コーナー ｼﾙﾊﾞｰ人材：雑巾づくり→社協へ寄附（生きがい作り） 図書館：折り紙→各図書館へ寄附 薬剤師さんの相談、補聴器の相談等

＜新たなつながりづくり推進プロジェクト＞

目的と概要	新たなつながり作り推進プロジェクトとして、コミュニケーションを広げることや災害時などに自ら情報を集めたりすることができる高齢者を増やすための講座を開催しました。
考　察	○市役所周辺の市民から近くで開催してほしいとのニーズが高まり、本年度初めて成東文化会館のぎくプラザで開催しました。６回の講座終了後に、自主グループ立上げ支援を行い、新しいグループが新設することができました。 ○参集型の講座へ参加しにくい市民がいるという課題を解決するため、出前型のスマホ体験会のしくみづくりを新規に行いました。
実　績	＜初心者・中高年のためのスマホ講座＞ 成東文化会館のぎくプラザ　11～２月（６回講座）参加者 18 名（延べ 87 名） ＜スマホ体験出前講座＞ 美杉野ゴールドクラブ　美杉野自治会館　参加者 13 名 ※ドコモショップの派遣による初心者向け体験交流会です。

＜各協力団体との連携・調整会議等への参加と協力＞

目的と概要	生活支援コーディネーターとして他機関と連携し事業の企画会議や調整会議を行い、協働事業を実施しました。
考　察	社会福祉協議会関係者だけでなく幅広い分野の方と協働して事業が行えるように、積極的に新たな人脈づくりや新しい会議への参加に努めました。
実　績	＜さんむオレンジチームへの参画＞ ○認知症当事者や家族が認知症の初期段階から地域で安心して暮らし続けられるように、認知症ステップアップ講座修了者と協力し認知症啓発とオレンジカフェの開催に取り組みました。 期　日　・毎月１回運営側会議（地域包括職員及び生活支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ） ・別日で月１回市民ボランティア参加の会議を開催 ※認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座の開催、認知症についてのイベントや周知活動（全国アルツハイマー月間認知症啓発展示、認知症啓発映画会、産業まつりブース開設等の支援） ＜松尾地区オレンジカフェ「元気カフェ松尾」新規開催＞ ○新規に松尾地区のオレンジカフェを開催しました。作業療法士の運動や参加型のレクリエーション等と参加者のグループトーク等を行いました。 期　日　令和７年　２月　７日（金） 参加者　地域の参加者 20 人　運営スタッフ 11 人　　合計 31 人 ＜本須賀おらんちカフェの開催＞ ○定期的な認知症カフェの開催を目指し、鳴浜・南郷地区社協、ボランティア、地域包括支援センター等と協力しエクセルシオール山武を会場に地域高齢者が集まり交流するイベントを開催しました。本年度は天候に恵まれませんでしたが、２回実施することができました。 会　議　令和６年４月～令和７年３月まで準備等の会議を７回開催 期　日　①令和６年　６月２１日（金） ②令和６年１２月１３日（金） 参加者　①地域の高齢者 8 人、施設入所者 9 人、運営スタッフ 19 人 ｱﾄﾗｸｼｮﾝ出演者　2 人　　合計 38 人 ②地域の高齢者 10 人、施設入所者 11 人、運営スタッフ 17 人 ｱﾄﾗｸｼｮﾝ出演者　1 人　　合計 39 人 ＜生活支援コーディネーター圏域別情報交換会＞ 期　日　令和７年　２月１４日（金） 場　所　千葉県教育会館 内　容　千葉県庁担当課と山武圏域の生活支援体制整備事業担当者が集い情報交換 参加者　高齢者支援課　瓜生第１層生活支援コーディネーター 社会福祉協議会　須田第１層生活支援コーディネーター 佐久間第２層生活支援コーディネーター

＜市民に向けた積極的な情報発信と周知活動＞

内　容	○社会福祉協議会報「きずな」へ生活支援体制整備事業の記事掲載（４回） ・令和６年春号、夏号、秋号、令和７年新年号
考　察	○継続的に市社協広報紙で周知を進めていきます。 ○第２層生活支援コーディネーターの活動で高齢者の安心生活情報誌「いちご手帳」の掲載内容の確認が終了し市に報告しました。今後、新たな情報提供の仕組みづくりを検討していきます。（スマホから必要な情報を引き出せるＨＰの設置）

④地域力による介護予防活動の充実

＜通いの場の活動支援＞

目的と概要	地域の高齢者が集い交流できる居場所を運営するボランティアグループに対し「集い・通い・交流の居場所運営費補助事業」として補助金の交付し、地域高齢者の主体的な「こころと体の健康づくり」を推進しました。
考　察	活動するグループが 32 グループと増え、市民の健康意識の高まりを感じています。国では、健康な状態の人が通うだけでなく“フレイル状態”になっても引き続き通え、永く通える居場所としての活動が望まれているので、運営者にも理解していただくように努めていきます。
実　績	○補助金交付ボランティア団体　合計３２ｸﾞﾙｰﾌﾟ（昨年度 23 ｸﾞﾙｰﾌﾟ） 月１回以上活動するグループ　８グループ　420,000 円 月２回以上活動するグループ　１１グループ　1,260,000 円 週１回以上活動するグループ　１３グループ　2,950,000 円 ＜通い・集い・交流する居場所づくり事業運営者交流会＞ 期　日　令和７年　２月２７日（木） 場　所　松尾ＩＴ保健福祉センター　多目的室 参加者　２４グループ　５６名参加 内　容　①報告：山武市の居場所づくり事業について （社会福祉協議会 須田第１層生活支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ） ②情報交換及び交流会 運営者アンケート・基本チェックリスト体験 （高齢者支援課 瓜生第１層生活支援コーディネーター） 出張健康教室について（高齢者支援課 稲生保健師） ③その他 令和６年度補助金実績報告及び令和７年度補助金申請について

⑵　住民参加・協働によるボランティア活動の推進

①ボランティア活動の相談・支援

＜ボランティア・市民活動センターの運営＞

目的と概要	ボランティア・市民活動に関する理解と関心を深め、ボランティア活動者・市民活動者との協働・連携及び支援を図ることにより、地域福祉を推進することを目的に山武市ボランティア・市民活動センターを設置・運営しました。
考　察	ボランティアセンターを拠点とし、ボランティア・市民活動が活発化するよう、掲示物やインターネット、広報紙など、対象世代に合わせた情報発信方法に努めました。今後も新たな情報発信方法を検討していきます。
登録状況	ボランティアグループ　123 グループ 1,473 名（前年：122Ｇ1,461 名） 個人ボランティア　161 名（前年：　153 名） 全社協ボランティア保険加入者　25 名（前年：　6 名） 合計　1,659 名（前年：　1,620 名）

＜マッチング・相談支援＞

目的と概要	ボランティアニーズとボランティア双方を登録することにより、情報提供を始めとした、活動と人とをつなぐことを目的に実施しました。
考　察	市内だけに留まらず、市外自治会や施設等からボランティア派遣の相談があり、山武市ボランティアが市外で活躍し、幅広いボランティアニーズに対応することができました。保有資格や技術、年代、国籍問わず、今後も幅広い人材の確保を目指していきます。
事業内容	ボランティアに関する相談件数　５３件（前年度３５回）

＜ボランティア保険の加入促進＞

目的と概要	ボランティア活動する方が安心して活動できるよう、事故やけが、賠償責任等について補償する保険の加入促進を図りました。
考　察	登録ボランティアは全員自動加入となる一方、活動目的が不透明な団体もあることから、今後、ボランティア登録には活動内容を精査する必要があると考えます。
事業内容	ボランティア保険加入者　１，６５９人

＜ボランティア活動資金づくり支援＞

目的と概要	さまざまな社会課題に取り組むＮＰＯやボランティアグループは、営利を目的としない活動を行っているため、常に資金的な支援を必要としています。このような団体に対して、支援したい分野やテーマで団体を公募し、助成金を提供する企業等の情報を提供し、活動活性化の支援を行っています。
考　察	ボランティア活動向け助成金など、チラシや広報紙を活用し、随時情報提供を行いました。また、活動資金確保に向けたアドバイスを行い、引き続きボランティア活動の活性化を目指します。
事業内容	当センターのボランティア情報紙「きらめき通信」やセンター窓口にて随時紹介していきます。

＜ボランティア活動の広報・啓発＞

目的と概要	ホームページやボランティア情報紙「きらめき通信」、その他様々な場面において、ボランティア活動についての興味・関心を抱いていただくための啓発を行いました。
考　察	ボランティア活動に参加してみようという気持ちを抱いていただけるような話題や情報を提供することを心がけていきます。
事業内容	①ボランティア情報紙「きらめき通信」を毎月発行し、登録ボランティア及び一般市民、関係機関等に配布しました。 【第２０９号 ～２２０号発行済み：各３，５００部発行】 ②ボランティア・市民活動センター専用ホームページ （活動ＰＲ、登録支援、活動グループ紹介、災害支援等の情報提供）

＜ボランティア活動用資機材等の整備と貸出＞

目的と概要	ボランティア活動を支援するため、活動に必要な資機材の貸出しを行いました。
考　察	資機材等の種類を増やすことで、活動の活発化と、ボランティア登録のメリット、社協のＰＲや会費の増強にも繋がると考えます。
事業内容	

貸 出 物 品 名	回数	延べ品数
ワイヤレスマイク	2	2
アンプセット	2	2
高齢者（障害者）疑似体験セット	1	6

②各種ボランティア・市民活動講座等の開催

＜１．災害支援ボランティア講座＞　※再掲

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>災害支援ボランティア活動に対する知識と理解を深め、ボランティアとしての意欲の高揚や資質向上を図り、参加者が地域のリーダーとなって活動することで、地域防災の増進に寄与することを目的に開催しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>山武市防災士会の防災士を講師に迎え、クロスゲームやグループワークを行い、防災意識を高めるとともに、防災知識の普及活動に努めました。
市民の防災意識を保つためにも、継続開催していくことが望ましいと考えます。</td></tr>
<tr><td>共　催</td><td>山武市市役所消防防災課
山武市防災士会
山武市ボランティア連絡協議会</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td><table>
<tr><td>日　　時</td><td>令和６年１１月２４日（日）</td></tr>
<tr><td>会　　場</td><td>成東文化会館のぎくプラザ</td></tr>
<tr><td>参加人数</td><td>３２名</td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td>防災士によるクロスゲーム、市消防防災課による防災講話</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

＜２．夏休みボランティア体験教室＞

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>ボランティア体験学習を通じ、人生の重要な発達段階にある子どもの自立と連携の心を育て、地域社会の一員としての意識を高め、もって「参加型福祉社会の実現」に向けた担い手の育成に寄与することを目的とし実施しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>夏休みの期間を利用し、テーマ別にボランティア体験学習を行いました。将来を担う子供たちの興味を引く企画を考案し、体験メニューを増やすこと以外にも、有意義な体験となる仕掛けづくりに努める必要があると考えます。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td><table>
<tr><td colspan="2">１．バルーンアート（風船）を高齢者施設で披露</td></tr>
<tr><td>日　　時</td><td>令和６年７月３０日（火）</td></tr>
<tr><td>会　　場</td><td>成東文化会館のぎくプラザ、グループホームなるとう</td></tr>
<tr><td>参加人数</td><td>９名</td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td>バルーンアート、高齢者施設で披露</td></tr>
<tr><td colspan="2">２．点字体験ボランティア</td></tr>
<tr><td>日　　時</td><td>令和６年８月８日（木）</td></tr>
<tr><td>会　　場</td><td>山武福祉センター</td></tr>
<tr><td>参加人数</td><td>９名</td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td>点字サークルなでしこの協力で点字を学ぶ</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

③おもちゃ図書館の開館

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>ハンディキャップのあるなしに関わらず、おもちゃ遊びを通じて子どもたちの心身の発達を促すとともに、保護者同士の交流を促進し、地域ぐるみで子育てを見守り・協力しあえるきっかけとなる場として開館しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>ボランティアの運営協力のもと、前年度よりも大幅に開館回数を増やし実施しました。
利用者数の確保、おもちゃ図書館運営ボランティアの発掘が急務です。子育て世代と繋がる機会は貴重であり、若手ボランティアの確保に繋がる仕掛けづくりを行いたいと考えます。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">“ひらひら”おおひらこども園子育て支援センター</td></tr>
<tr><td>開 催 日 時</td><td>毎月第１金曜日　9：30～11：00</td></tr>
<tr><td>開 催 回 数</td><td>４回（6/7.7/5.2/7.3/7）　（前年度０回）</td></tr>
<tr><td>参　加　者</td><td>こども３５名　付き添い３０名</td></tr>
<tr><td>ボランティア</td><td>１１名</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td colspan="2">“みつばち”なるとうこども園子育て支援センター</td></tr>
<tr><td>開 催 日 時</td><td>毎月第２金曜日　9：30～11：00</td></tr>
<tr><td>開 催 回 数</td><td>２回（5/10.6/14）　（前年度０回）</td></tr>
<tr><td>参　加　者</td><td>こども１６名　付き添い１５名</td></tr>
<tr><td>ボランティア</td><td>７名</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td colspan="2">“うさぎ”しらはたこども園子育て支援センター</td></tr>
<tr><td>開 催 日 時</td><td>毎月第３金曜日　9：30～11：00</td></tr>
<tr><td>開 催 回 数</td><td>８回（5/17.6/21.7/19.9/20.11/15.1/17.2/21.3/21）
（前年度０回）</td></tr>
<tr><td>参　加　者</td><td>こども４３名　付き添い３３名</td></tr>
<tr><td>ボランティア</td><td>１７名</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td colspan="2">“らっこ”山武市簡易マザーズホーム内「くまの部屋」</td></tr>
<tr><td>開 催 日 時</td><td>毎月第４金曜日　10：00～11：30</td></tr>
<tr><td>開 催 回 数</td><td>８回（5/24.6/28.7/26.9/27.11/22.1/24.2/28.3/28）
（前年度７回）</td></tr>
<tr><td>参　加　者</td><td>こども６４名　付き添い４２名</td></tr>
<tr><td>ボランティア</td><td>２１名</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

④福祉教育の推進

＜福祉教育活動費の助成＞

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>学校の児童・生徒と地域が密接に関わることで、自ら進んで地域活動に参加する市民として育ってくれることを目標に、市内の小・中学校に対し福祉教育推進に係る補助金を交付しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>活動費不足である学校の福祉教育推進に大きく貢献していると考えます。補助金は、共同募金配分金を充てていることから、学校に対し、目に見える配分先としての良いアピールにもなっています。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>【助成実績】
<table>
<tr><td>学校名</td><td>成東小学校　緑海小学校　日向小学校
睦岡小学校　山武北小学校　松尾小学校
大平小学校</td><td>各　校
30,000 円</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>７校（前年：７校 210,000 円）</td><td>210,000 円</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

＜福祉教育の推進・学校等への協力＞【６校６回実施（昨年度：７校　８回実施）】

目的と概要	学校で行われている福祉教育に協力しました。児童・生徒と地域が密接に関わることで、自ら地域活動に参加する市民に成長してくれることを目指し実施しました。
考　察	学校福祉教育に地域ボランティアと関わることは、地域福祉活動を推進する上で、活動基盤となりえるため大切であると考えます。

１．鳴浜小学校	
日　時	令和６年９月２６日（木）１０：１０～１２：００
場　所	鳴浜小学校（３学年教室、４学年教室、少人数教室）
対象者	３学年児童１６名、４学年児童１２名
協力者	ボランティア９名
内　容	高齢者疑似体験および車いす操作体験

２．緑海小学校	
日　時	令和６年１１月１９日（火）１０：００～１２：００
場　所	緑海小学校体育館
対象者	３学年児童　１クラス２０名・４学年児童　１クラス２３名
協力者	ボランティア１４名
内　容	高齢者疑似体験および車いす操作体験

３．成東小学校	
日　時	令和６年１２月９日（月）９：５０～１２：００
場　所	成東小学校（体育館）
対象者	３学年児童５８名
協力者	聴覚障がい者協会・手話通訳者２名
内　容	聴覚障がい者に関する福祉教育

４．大富小学校	
日　時	令和７年１月２４日（金）１３：４５～１４：４５
場　所	大富小学校５年生クラス
対象者	５学年児童　１クラス１６名
協力者	点字サークルなでしこ・視覚障がい者２名
内　容	点字体験

５．南郷小学校	
日　時	令和７年２月１０日（月）１０：２５～１２：００
場　所	南郷小学校（４学年教室）
対象者	４学年児童　２７名
協力者	ボランティア１０名
内　容	車いす体験・高齢者疑似体験

６．大平小学校	
日　時	令和７年２月２０日（木）１０：１５～１２：１０
場　所	大平小学校（体育館）
対象者	４学年児童　１クラス２０名
協力者	ボランティア名
内　容	高齢者疑似体験および車いす操作体験

＜福祉教育推進校パッケージ指定（令和６から８年）＞

福祉教育推進連絡会	
期　日	６月１３日（木）、９月１３日（金）、１１月１５日（金）、２月７日（金）
場　所	成東老人福祉センター
参加者	成東高等学校・成東東中学校・緑海小学校・緑海地区社会福祉協議会の福祉教育担当者各１名、事務局２名
内　容	・テーマについて ・各校の取り組み状況について ・今後の取り組みについて　　等

２．日常生活を支援するサービスの充実

⑴　権利擁護と自立支援の取り組み

①成年後見推進事業の実施
＜成年後見に関する研修及び会議等参加＞

期　日	名　　称	場　所	出席者
４月２２日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名
５月２１日（火）	山武市成年後見支援会議	山武市役所	センター長 専門員
５月２７日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名
６月２４日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名
７月１９日（金）	山武市成年後見支援会議	成東老人福祉センター （リモート開催）	センター長 専門員２名
７月２２日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名
８月２６日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員
９月３０日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員
１０月１６日（水）	匝瑳市・旭市中核機関視察	山武市役所	専門員２名
１０月２３日（水）	山武市成年後見支援会議	山武市役所	センター長 専門員２名
１０月２８日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名
１１月２２日（金）	千葉家庭裁判所八日市場支部 （意見交換会）	匝瑳市市民ふれあいセンター	専門員２名
１１月２５日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員
１２月２３日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会	山武市役所	専門員２名
１月２７日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名
２月１７日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会	山武市役所	専門員２名
３月１８日（火）	富里市社会福祉協議会中核機関視察	成東老人福祉センター	専門員２名
３月２４日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名

＜市民後見人の活動の推進に関する啓発活動（パンフレット配布及び事業説明等）＞

期　日	名　　称	場　所
７月１３日（土）	鳴浜地区社会福祉協議会	本須賀コミュニティセンター
８月２１日（水）	松尾地区社会福祉協議会	松尾農村環境改善センター
９月１３日（金）	松尾地域民生委員児童委員協議会	松尾 IT 保健福祉センター
３月２７日（木）	九十九里緩和セミナー	さんむ医療センター

＜研修会の開催＞

期　日	名　　称	場　所	参加者
３月１６日（日） ２３日（日）	山武市市民後見人養成講座フォローアップ研修	成東老人福祉センター	７名

②日常生活自立支援事業の実施（愛称：すまいる）

目的と概要	日常生活を送る上で、十分な判断ができない方や、身体の不自由な方が地域で安心して生活できるように支援することを目的とした日常生活自立支援事業（千葉県後見支援センター事業業務）を千葉県社会福祉協議会から受託し、福祉サービス利用援助・財産管理サービス・財産保全サービスを実施しました。
考　察	利用者の困難事例（虐待案件）が多くあり、福祉関係者との連携が特に必要になるケースが多々ありました。また、新規契約者の増加に伴い、生活支援員の募集の周知を引き続き図りたいと考えます。

【利用者・生活支援員】

利用者	新規契約数	３２ケース	
	解　約　数	２０ケース	
	その他移管数	ケース	
	年度末現在契約数	９８ケース	（前年度８６ケース）
生活支援員	現　任　数	１８名	（前年度１８名）
	登　録　数	２名	（前年度　２名）

【実績】

	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
前年度まで契約数	１７０	２４	４１	９	２４３
今年度契約数	２６	１	２	３	３２
移管数	０	０	０	０	０
合計	１９６	２５	４３	１２	２７５

【内容別契約者数】

	新規契約者総数（生保者数）	契約解除者数（生保者数）	移管者数（生保者数）	年度末現在契約数（生保者数）	サービス種類（※1）					
					福祉	財産管理				財産保全
						あり	なし	社協	個人	
R5.3まで契約数	243（84）	110（45）	51（18）							
今年度契約数	32（10）	20（8）	0（0）	98（33）	98	91	7	85	6	6
合計	275（94）	130（53）	51（18）	98（33）						

サービス種類説明（※１）

○福　　祉：福祉サービス利用援助…９８名

○財産管理：財産管理サービス……９１名

あり：代理権あり

なし：代理権なし

社協：通帳社協管理

個人：通帳個人管理

○財産保全：財産保全サービス……　６名

【相談内容別人数等内訳】

		高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	計
1	福祉サービスの手続き等					
2	日常的な金銭の管理等	47	3	1	3	54
3	書類等の預かり・財産保全					
4	保健サービスの手続き等					
5	医療に関する事項					
6	福祉サービスに関する苦情等					
7	今後の生活設計等					
8	本事業等に関する単なる問合せ					
9	成年後見制度に関すること	35	5		8	48
10	虐待等に関すること等					
11	その他					
合計		82	8	1	11	102

【相談・訪問調査等の回数】

		高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	計	前年度
相談・訪問調査等延べ回数		４３１	２７	１６	６１	５３５	４９９
訪問調査のみ	訪問実人数	７８					９３
	契約前訪問延べ回数	９８					１１７

【研修等の開催・参加】

○千葉県後見支援センター主催

期　日	名　　称	場　所	出席者
８月５日（月）	日常生活自立支援事業現任専門員研修	千葉県社会福祉センター	専門員２名
１１月１２日（火）	第１回日常生活自立支援事業連絡会議	成東老人福祉センター（リモート開催）	専門員２名
１２月２日(月)	日常生活自立支援事業生活支援員・担当者研修会	成東老人福祉センター（リモート開催）	専門員３名 生活支援員(現任・登録) ９名
１月１２日(日)	楽しく学べる！はじめての成年後見講座	千葉県社会福祉センター	専門員２名
２月２８日(金)	第２回日常生活自立支援事業連絡会議	成東老人福祉センター（リモート開催）	専門員
３月３日(月)	見守り付きプリペイドカードKAERUオンラインセミナー	成東老人福祉センター（リモート開催）	専門員
３月５日(水)	日常生活自立支援事業関係機関連絡会議	成東老人福祉センター（リモート開催）	専門員
３月５日(水)	法人後見専門員研修会	成東老人福祉センター（リモート開催）	専門員

○さんむ成年後見支援センター主催

期　日	名　　称	場　所	参加者
３月１６日（日） ２３日（日）	生活支援員連絡会議	成東老人福祉センター	９名

【契約締結審査会（審査会場：千葉県社会福祉センター　毎月第３火曜日 18:15～)】

審査月	実施日	回数	審査内容（上程／単位：ケース)					支援計画 ※除審査会	出席者 (ZOOM)
			新規	新　規 事務局 審　査	評価	解約	支援計画		
4 月	23 日	290			4	1			
5 月	21 日	291	2	3	15				専門員２名
6 月	18 日	292	1		6				専門員２名
7 月	23 日	293			4	1			
8 月	20 日	294		2		4			
9 月	17 日	295	2		5	3			専門員２名
10 月	22 日	296		4	8	1			
11 月	19 日	297	3	8	9				専門員２名
12 月	17 日	298	1	1	3	3			専門員２名
1 月	21 日	299			6	2	4		
2 月	18 日	300		1	9	3			
3 月	18 日	301		1	4	1			
年間計			9	20	73	19	4		

※　審査会不承認、審査通過後辞退及び死亡により当年度契約数等とは一致しません。

【地域会議及び担当者会議（全２２回)】(前年度全１８回)

期　日	場　所	人数	出席者
４月１０日（水）	自宅	5	本人・知人、ケアマネ・ヘルパー・専門員
４月２２日（月）	山武市役所	5	成東包括２名・施設職員・専門員２名
５月１５日（水）	さんネット	6	本人・就労支援事業所職員・GH職員・相談支援専門員・生活支援員・専門員
５月２２日（水）	山武市役所	6	成東包括３名・ケアマネ・ヘルパー・専門員
６月１２日（水）	本人宅	5	本人・ケアマネ・ヘルパー・山武包括・専門員
６月２４日（月）	本人宅	7	本人・ケアマネ・福祉用具専門相談員・山武包括２名・専門員２名

７月３日（水）	松尾蓮沼包括支援センター	８	ケアマネ・ヘルパー・民生委員・生活支援コーディネーター２名・松尾包括２名・専門員
７月８日（月）	ケアステーション渚	５	本人・ケアマネ・デイサービス相談員・ヘルパー・専門員
７月９日（火）	GHあおぞら	８	本人・ケアマネ・生活支援員・成年後見人・ヘルパー・施設職員・専門員２名
９月６日（金）	さんネット	６	本人・就労支援事業所職員・GH職員・相談支援専門員・生活支援員・専門員
１０月８日（火）	特別養護老人ホーム海	１０	施設長・施設職員２名・高齢者支援課係長・成東包括・保健師・警察２名・専門員２名
１０月９日（水）	松尾蓮沼包括支援センター	５	松尾包括２名・ケアマネ・専門員２名
１１月１日（金）	松尾蓮沼包括支援センター	５	松尾包括２名・成東包括・ケアマネ・専門員
１１月７日（木）	山武地域包括支援センター	６	山武包括２名・民生委員・ケアマネ・専門員２名
１１月８日（金）	山武市役所	９	妻・長男・長女（電話）・成東包括２名・保健師・市役所保護係・専門員２名
１２月３日（火）	山武市役所	５	相談支援専門員・息子成年後見人・市役所保護係・市役所障害係・専門員
１２月１０日（火）	本人宅	６	本人・娘・ケアマネ・ヘルパー・専門員２名
１２月１３日（金）	山武市役所	１０	家庭児童相談室２名・成東包括２名・社会福祉課・ケアマネ・さんネット・生活就労相談室・高齢者支援課・専門員
１月７日（火）	山武市役所	６	成東包括３名・市役所保護係・専門員２名
１月２９日（水）	山武市役所	８	夫・息子・成東包括・高齢者支援課２名・生活就労相談室・市役所保護係・専門員
２月１４日（金）	成東老人福祉センター	６	本人・就労支援事業所職員・GH職員・相談支援専門員・生活支援員・専門員
３月４日（火）	山武市役所	７	本人・成年後見人２名・相談支援専門員・就労支援事業所職員・市役所障害係・専門員

【事業説明および啓発活動等】（前年度１回）

期　日	名　　称	内　容	出席者
７月１３日（土）	鳴浜地区社会福祉協議会	センターの役割・日常生活自立支援事業・成年後見制度について	鳴浜地区社協推進員
８月２１日（水）	松尾地区社会福祉協議会	センターの役割・日常生活自立支援事業・成年後見制度について	松尾地区社協推進員
９月１３日（金）	松尾地域民生委員児童委員協議会	センターの役割・日常生活自立支援事業・成年後見制度について	松尾地域民生委員・児童委員
３月２７日（木）	九十九里緩和医療セミナー	センターの役割・日常生活自立支援事業・成年後見制度について	一般市民・医療福祉従事者等

③法人後見事業の実施

【法人後見の受任】

目的と概要	家庭裁判所の審判に基づき、当社協が法人として成年後見人となり支援を行いました。
考　察	昨年度に引き続き受任ケースがありました。 また、後見人の高齢化等により退任される方からの相談などもあり、法人後見に引継ぎしたい案件もありました。後見人不足からも法人後見への期待も高まってきております。

【実績】

	類　型		
	補助	補佐	後見
総受任数 （前年度まで）	０件	０件	１２件 （終了９件）
今年度 受任数	０件	０件	１件
年度末合計	０件	０件	４件

【相談件数】

	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	計	前年度
件　数	８２	８	１	１１	１０２	１０１

＜法人後見運営委員会＞

期　日	令和６年６月２４日（月）
場　所	成東老人福祉センター　第１会議室
出欠等	出席者９名・会長
内　容	（１）後見人候補の推薦受任について （２）経過報告について （３）その他

④生活困窮者自立支援制度事業の充実・強化
＜自立相談支援事業の実施＞
【相談実績】

目的と概要	何らかの理由により生活が困窮し、生活を維持することができなくなるおそれのある生活困窮者に対し、本人の状態に応じた包括的な相談支援を実施し、その者の社会的経済的自立に資することを目的として実施しました。
考　察	物価高騰の影響を受け、令和６年度も多くの新規相談が寄せられました。 収入を得るための求人はありますが、安定収入までには至らず、家計改善が困難となり更に複数の課題を抱えてしまうケースが多くみられます。 今後も物価高騰が長期化すると、更なる相談数の増加が予想されます。
実　績	

月	新規相談	延べ相談対応件数（前年度からの継続ケース含む）	プラン		モニタリング	評価	住居確保給付金（新規）
			新規	再			
４	１６	１３７	２	１	１１	３	
５	１６	１７４			１３	３	
６	１４	１３１			１２	２	
７	２１	２０１	１	３	８	４	
８	１９	１５０			９	２	
９	２１	１２０	１		７	２	
１０	１３	１２１	２	１	７	１	１
１１	１１	１３２	２		９		
１２	１３	１６８			１０		
１	２０	１６０	３		８	３	１
２	９	１６５	３		１１	３	１
３	１６	２１０			１３	０	
合計	１８９	１，８６９	１９		１１８	２３	３

実　績

【新規相談種別】

相談内容	主相談	その他	合　計
① 病気や健康、障害のこと	１９	６６	８５
② 住まいについて	１１	２７	３８
③ 収入・生活費のこと	１１５	４１	１５６
④ 家賃やローンの支払いのこと	３	３３	３６
⑤ 税金や公共料金等の支払いのこと	１	４０	４１
⑥ 債務について	７	１１	１８
⑦ 仕事探し、就職について	１８	２４	４２
⑧ 仕事上の不安やトラブル	２	５	７
⑨ 地域との関係について	０	２	２
⑩ 家族との関係について	３	２１	２４
⑪ 子育てのこと	０	３	３
⑫ 介護のこと	５	１８	２３
⑬ ひきこもり・不登校	０	６	６
⑭ ＤＶ・虐待	０	０	０
⑮ 食べるものがない	１	１１	１２
⑯ その他	４	１	５
合　計（相談者の抱える悩みの数）	※前年度４３９		４９８

≪相談内容の傾向≫
主相談　第１位：収入・生活費のこと
　　第２位：病気や健康、障害のこと
　　第３位：仕事探し、就職について

本年度の支援によって見られた変化（前年度までのケース含む）

生活面	生活保護の適用	66	生活習慣の改善	7
	住まいの確保、安定	18	孤立解消	86
	医療機関の診断開始	13	精神安定	127
	健康状態の改善	6	債務の整理	21
	障害手帳の取得	3	家計の改善	77
	自立意欲向上・改善	54	就労収入増加	10
	対人・家族関係の改善	18		
社会面	職場定着	5	就職活動開始	47
	一般就労開始（目的が継続的な就労。障害者雇用含む）	21	職業訓練の開始、就学	3
	障害者サービス活用（就労継続Ｂ型、就労移行支援等）	3	社会参加機会の増加	27
他	その他	31		

【終了理由内訳】

	前年度からの継続ケース	６年度新規受付ケース
解決	４３	３８
情報提供のみ	０	０
他機関にて対応	２	３
音信不通	０	０
その他 （転出、死亡、支援辞退等）	１０７	１３
終了件数合計	１５２	５４
	２０６	

前年度からの継続ケース数(A)	前年度からの継続ケースの内6年度終了数(B)	6年度新規受付分繰越ケース数(C)	次年度への繰越ケース数(A)−(B)+(C)
４８６	１５２	１３５	４６９

【支援調整会議】

目的と概要	山武市生活困窮者自立相談支援事業を実施するにあたり、支援及びその計画が適切なものであるか確認を行うとともに、関係機関及び関係者等の役割について調整を行うことを目的に開催しました。
考　察	各関係部署が出席し、意見交換や情報共有が行われています。原則毎月１回開催し、多職種連携の場として有効であると考えます。
場　　所	山武市役所本庁内会議室
参 加 者	社協事務局長、社会福祉課長、社会福祉係、保護係、障がい福祉係、包括支援センター、子育て支援課、健康支援課、家庭児童相談係、リンク（家計改善支援員)、自立相談支援員２名
実　績	全１２回

【会議・研修会等への参加】

会　議　等	＜令和６年度山武圏域生活困窮者自立相談支援事業連絡会事務局会議＞ 期　日　令和６年４月２３日（火）　※オンラインにて開催 内　容　・事務局会の開催について ・全大会の開催について ＜令和６年度山武圏域生活困窮者自立相談支援事業連絡会＞ ※書面開催 内　容　令和５年度山武圏域生活困窮者自立支援事業連絡会活動報告 令和６年度山武圏域生活困窮者自立支援事業連絡会活動計画 ※令和６年度より活動休止とする ＜山武健康福祉センター・中核地域生活支援センターに係る令和６年度山武圏域連絡調整会議＞ 期　日　令和６年５月３０日（木） 内　容　報告 ・中核地域生活支援センター2023 年度活動報告及び 2024 年度活動方針 講話 「多分野多職種連携のため情報アップデート ～各領域における法改正と生活者への影響～」 ⑴［高齢］介護保険改正 ⑵［障がい］障害者総合支援法・障害者差別解消法改正 ⑶［子ども・若者］児童福祉法改正 ⑷［女性］女性新法施行 ⑸［医療］医療法・薬機法・薬剤師法・精神保健福祉法改正 ⑹［成年後見］民法・不動産登記法等 ⑺［労働・雇用］労働・雇用関係制度 山武圏域の情報共有 ・山武郡市広域行政組合教育相談センター ・千葉県立大網白里特別支援学校 ・長生・山武自閉症協会 ・マリンハウス ・ホッとステーション事業 ＜山武市要保護児童対策地域協議会実務者会議＞ 期　日　令和６年７月１６日（火） 内　容　・要保護児童の把握及び検討 ・その他 ＜自殺対策連絡協議会担当者会議＞ ※書面開催 内　容・自殺対策連絡協議会の会議運営について ・山武市自殺対策連絡協議会イメージ図 ・山武市における自殺者数の現状について ・自殺に関する支援を行っている事例一覧 ・自殺対策連絡協議会担当者会議への意見等の報告書

	＜居住支援打ち合わせ＞ 期　日　令和７年１月２２日（水） 　　令和７年２月２５日（火） 内　容　・住宅セーフティネット法等の改正について 　　・居住支援部会（仮称）について 　　・居住支援について
考　察	多職種連携において、各分野の法改正の情報や各種社会資源等、生活困窮者自立相談支援に関わる相談機関同士の情報共有の場として有効であると考えます。

研修会等	＜令和６年度千葉県生活困窮者自立支援制度初任者研修＞ 期　日　①令和６年６月２４日（月） 会　場　千葉県社会福祉センター 内　容　・生活困窮者自立支援制度について 　　・生活困窮者に必要な視点 　　・生活困窮者に対する就労支援 　　・行き場をなくした方への支援 　　・生活保護制度について 　　・生活福祉資金貸付制度について 　　・支援ツールの入力について 期　日　②令和６年７月９日（火） 会　場　千葉県社会福祉センター 内　容　・グループワーク①　事例検討　相談者の理解他 　　・グループワーク②　事例検討 　　アセスメントした内容をもとに支援方針を作成する。 　　・グループワーク③　悩みごと等の共有　他 ＜ちこねっと実務者ミーティング＞ （第１４回） 期　日　令和６年６月９日（日） 会　場　千葉県教育会館 内　容　基調講演「若者たちと一緒に取り組んできたこと」 　　公開事例検討「若者支援は、なぜ壁にぶつかるのか？」 　　ワールドcafe「たくさん話そう、若者支援の悩みあれこれ」 （第１５回） 期　日　令和７年２月１５日（土） 会　場　千葉県弁護士会館 内　容　講演「生活困窮者自立支援法の令和６年度改正と今後」 　　グループワーク　他 ＜生活困窮者自立支援制度・生活保護制度・住宅セーフティネット制度等の見直し及び令和７年度概算要求状況に関する説明会＞ ※オンライン（YouTube リアルタイム配信視聴） 期　日　令和６年９月６日（金） 内　容　制度見直しについて説明

	＜「海匝・山武・長生・夷隅」九十九里沿岸圏域合同　地域共生社会推進にかかる勉強会＞ 期　日　令和７年１月１４日（火） 会　場　山武合同庁舎　大会議室 内　容　地域共生社会の実現に向けた取り組みの実践報告とパネルディスカッション ＜生活困窮者自立支援制度人材養成研修　令和６年度テーマ別研修＞ ※オンライン（動画視聴・ZOOM ミーティングへの参加） （１）孤独・孤立の理解とアウトリーチ相談支援研修 期　日　令和７年１月２２日（水） 内　容　ひきこもり支援の実践報告とグループワーク （２）若年層が抱える課題とその支援 期　日　令和７年２月７日（金） 内　容　若年層支援の実践報告とグループワーク ＜令和６年度　ダイバーシティ就労モデル事業実践報告会＞ 期　日　令和７年３月４日（火） 会　場　千葉市文化センター 内　容　実績報告及び実践報告 ダイバーシティ就労モデル事業のこれから トークセッション　他

＜生活困窮者自立支援制度の周知＞

目的と概要	山武市生活困窮者自立相談支援事業を実施するにあたり、市民や民生委員児童委員へ向けた相談窓口の周知を行いました。
考　察	令和６年度に実施出来なかったポスターの掲示や案内カードの作成について検討し、情報弱者への事業ＰＲの強化に努めたいと考えます。
実　績	・市役所、社協窓口へのチラシの設置 ・民生委員児童委員協議会へのチラシ配布 ・蓮沼地域民生委員児童委員協議会（６月定例会）にて制度説明

＜ひきこもり当事者・家族に対するサポート体制の拡充＞

目的と概要	社会参加することに課題を抱え、生活のしづらさを感じている人への支援を通じ、ひきこもり者が地域に出て社会参加できる機会を作ることを目的とした「ひきこもり家族と支援者の集い」への事業協力を行いました。
考　察	ＮＰＯ法人リンクと協力開催することで、専門家を交えた質の高い支援活動を実施することができました。今後も地域の社会資源として広く認識されるよう、事業の定着を目指します。今後の課題として、ひきこもりサポーターの養成や、常設型の居場所づくりについても検討します。
実　績	＜市民公開講座＞ 期　日　令和７年２月１１日（火） 場　所　松尾交流センターＡスタジオ 内　容　講　話　「仕事したいのに出られない ～ひきこもりの実態と対応について～」 講　師：ここからクリニック院長 佐多 範洋 氏（精神科医） ＜心のいずみ in 山武　「家族」と「支援者」の集い＞　【全６回】 期　日　7/29、8/19、10/21、11/11、12/2、1/6 場　所　成東老人福祉センター 講　師　（ひきこもり家族会）アドバイザー　阿部達明 氏 対象者　「ひきこもり等」についてお悩みの方 内　容　講師を交えたグループワーク

＜支援に向けた社会資源の把握と開発等＞

目的と概要	山武市生活困窮者自立相談支援事業を実施するにあたり、雇用協力者や食料・物品提供者、その他事業への協力依頼を通じ、生活困窮者への理解を広めました。
考　察	生活困窮者向けの職場、食料、物品、協力者確保は、自立相談支援において大変重要です。今後も新たな協力者の確保・開拓に取り組んでいきます。
実　績	【職場開拓先】 ・アンツネクスト株式会社

⑤各種資金の貸付等
＜福祉資金の貸付＞

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>低所得世帯に対し、生活意欲の高揚と自立更生の推進を目的に、生活つなぎ資金その他必要な緊急援護費として貸付を実施しました。また、返済が滞っている借受人への支援を実施しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>生活保護決定となるまでの期間のつなぎ資金的支援、生活保護受給中の方の緊急的な支援を実施しました。
貸付支援で対応できないケースは、自立支援機関と連携し必要な制度へつなぎ、食料支援等で支援しました。引き続き困窮世帯については、迅速な支援が必要であると考えます。</td></tr>
<tr><td>貸付実績</td><td>【貸付状況】
〇債権消滅　1 件　30,000 円
平成 29 年貸付分　借受人の死亡が判明したもの
<table>
<tr><th colspan="2">貸付件数</th><th>貸付額</th><th>消滅額</th><th>消滅件数</th><th>残高</th></tr>
<tr><td>前年度以前</td><td>15 件</td><td>403,300 円</td><td>30,000 円</td><td>1 件</td><td>373,300 円</td></tr>
</table>
※前年度以前の貸付件数及び貸付額は４月１日付未償還分を記載
<table>
<tr><th colspan="2">貸付件数</th><th>貸付額</th><th>償還済額</th><th>未償還件数</th><th>残高</th></tr>
<tr><td>今年度新規</td><td>36 件</td><td>891,000 円</td><td>705,000 円</td><td>8 件</td><td>186,000 円</td></tr>
<tr><td>債権消滅後</td><td>14 件</td><td>373,300 円</td><td>106,800 円</td><td>10 件</td><td>266,500 円</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>50 件</td><td>1,264,300 円</td><td>811,800 円</td><td>18 件</td><td>452,500 円</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>食料支援</td><td>貸付相談時に生活状況に応じて食料支援を実施　３回
すまいるとの連携により食糧支援を実施　１回</td></tr>
</table>

＜生活福祉資金の貸付＞

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>低所得世帯や障がい者・高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより経済的自立・生活意欲の助長促進や在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とした貸付事業を千葉県社会福祉協議会から受託し実施しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>債権管理事務として、コロナ特例貸付では、支払免除の案内及び支払猶予について電話連絡、訪問にて実施しました。相談者の中には制度が理解できず、必要な申請手続きができずにいるケースが多数みられました。今後も様々な相談の中で債務者であることが判明した場合は、迅速に必要な手続きを支援します。
また、教育支援資金では、低所得世帯、母子家庭世帯の進学に必要な資金の貸付を対応しました。引き続き、希望する進路に進めるよう迅速に対応し、将来、世帯が自立できるよう民生委員と連携し支援していくことが重要であると考えます。</td></tr>
<tr><td>貸付実績</td><td>【県社協生活福祉資金 通常貸付状況】

○令和６年度新規貸付件数
<table>
<tr><th>貸付種類</th><th>貸付件数</th><th>貸付額</th></tr>
<tr><td>教育支援資金</td><td>2 件</td><td>2,080,000 円</td></tr>
<tr><td>緊急小口資金</td><td>4 件</td><td>400,000 円</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>6 件</td><td>2,480,000 円</td></tr>
</table>

○令和６年度末貸付残高
<table>
<tr><th>貸付種類</th><th>貸付件数</th><th>貸付額</th></tr>
<tr><td>総合支援資金</td><td>59 件</td><td>92,023,040 円</td></tr>
<tr><td>福祉費</td><td>7 件</td><td>3,103,025 円</td></tr>
<tr><td>緊急小口資金</td><td>36 件</td><td>4,385,138 円</td></tr>
<tr><td>教育支援資金</td><td>99 件</td><td>48,956,240 円</td></tr>
<tr><td>臨時特例つなぎ資金</td><td>1 件</td><td>100,000 円</td></tr>
<tr><td>離職者支援資金</td><td>2 件</td><td>3,176,540 円</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>204 件</td><td>151,743,983 円</td></tr>
</table>

○償還猶予　１件
教育支援資金　大学進学に伴う償還猶予</td></tr>
</table>

【債権管理事務　コロナ特例貸付償還状況】

○令和６年度末貸付残高

資金種類	件数	貸付額
緊急小口資金	236 件	39,297,216
総合支援資金	323 件	151,510,950
合　計	559 件	190,808,166

○令和６年度山武市社会福祉協議会の支援件数

支援種別	件数	
免除	35 件	非課税免除，判定免除
猶予	1 件	病気理由による支払い猶予
償還支援継続	228 件	免除非該当　償還継続
完済	12 件	支援により返済完了
電話対応	1,162 件	状況調査及び相談
訪問	32 件	状況調査　ポスティング
来所対応	63 件	償還相談　諸手続き
合　計	1,533 件	

○外国人相談会　　５回実施
① 令和６年１１月２５日（月）　　４名
② 令和６年１２月　２日（月）　１３名
③ 令和６年１２月　９日（月）　　９名
④ 令和６年１２月１９日（木）　１０名
⑤ 令和７年　２月２８日（金）　　８名

＜貸付調査委員会の開催＞

期　日	令和７年３月２５日（火）
会　場	成東老人福祉センター　第１会議室
出席者	貸付調査委員７名出席　事務局２名
内　容	（１）委員長、議事録署名人及び書記の選出について （２）令和６年度県生活福祉資金等貸付事業の状況について （３）令和６年度本会福祉資金貸付事業の状況について （４）その他

⑵　総合的な相談機能の取り組み

①心配ごと相談所の設置

目的と概要	住民の日常生活上のあらゆる悩みを持つ者に対して積極的に相談に応じ、問題解決に向け助言や援助指導を行うことを目的に相談所を開設しました。						
考　察	コロナ禍により、人々の生活は大きく影響を受け、近隣や親戚とのトラブルなどの相談も多く見られました。相談内容も年々複雑化している中、今後も身近な相談場所として実施し迅速に関係機関に繋いでいきます。						
区分	日数等	成東	山武	蓮沼	松尾	合計	前年度
一般相談	開設日数(日)	１１	２４	１２	１２	５９	５９
	相談件数(件)	６	２１	５	１０	４２	５２
法律相談	開設日数(日)	１２	１２	１２	１２	４８	４５
	相談件数(件)	６３	６３	５５	６０	２４１	２５４

≪１．相談内容の傾向≫

一般相談　　第１位：その他　　第２位：財産

法律相談　　第１位：人権・法律　第２位：財産

＜心配ごと相談所運営委員会＞

第１回	期　日	令和６年７月３１日（水）
	会　場	成東老人福祉センター　第１会議室
	出席者	心配ごと相談所運営委員６名・事務局２名
	内　容	（１）委員長・副委員長の選出について （２）令和５年度「山武市心配ごと相談所」相談実績について （３）令和６年度相談員研修会の開催について （４）次回の運営委員会議の開催について
第２回	期　日	令６年１２月１１日（水）
	会　場	成東老人福祉センター　第１会議室
	出席者	心配ごと相談所運営委員８名・事務局２名
	内　容	（１）令和６年度「山武市心配ごと相談所」相談実績について （２）令和６年度相談員研修会の開催について （３）令和７年度「山武市心配ごと相談所」の運営について （４）その他

＜心配ごと相談所相談員研修会＞

期　日	令和７年２月２１日（金）
会　場	さんぶの森交流センターあららぎ館　多目的室
参加者	心配ごと相談所相談員２０名　事務局３名
内　容	グループワーク　　テーマ「隣人とのトラブル」「親戚とのトラブル」 講義「ご相談の際の留意点」 講師：総武法律事務所 　　弁護士　菊地史泰氏

②苦情解決相談の受付

＜福祉サービスに対する苦情解決の実施＞

目的と概要	社会福祉協議会が行う福祉サービスに関わる苦情解決の仕組みを整備することで利用者の権利を擁護し福祉サービスの適切な利用を支援するとともに本会の福祉サービス等の適正と信頼を確保するため、事業ごとに苦情受付担当者を配置し、苦情解決窓口を設置しました。
苦情件数	２件（第三者委員会への要望はなし）
研修会等	＜福祉サービス苦情解決研修会＞※オンライン研修（全２回） 【第１回】 期　日　令和６年１０月３０日（水） 内　容　福祉サービスにおける苦情解決の意義と目的、仕組みづくりについて 講　師　平野　方紹氏（全社協福祉サービスの向上委員会副会長） 出席者　９名（第三者委員・苦情解決責任者・苦情解決受付担当者等） 【第２回】 期　日　令和６年１１月１３日（水） 内　容　クレームを信頼に変えるための対処法 講　師　喜山志津香氏（コミュニケーションサポートオフィス） 出席者　５名（職員）

＜第三者委員の設置＞

目的と概要	苦情解決に社会性や客観性を確保するとともに、福祉サービス利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、第三者委員を設置しました。
委員数	３名
仲裁件数	０件（対象案件なし）

③虐待通報の受付

目的と概要	社会福祉協議会が提供する福祉サービスの利用者及びその家族等が、虐待通報を行いやすくするため、虐待防止受付担当者を置き、受付体制を整備しました。
担当者	３名
通報の受付	０件

３．自立生活を支援するサービスの提供

⑴　介護サービス関連の取り組み

①介護保険法に基づく第１号訪問事業（訪問型サービスＡ）の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>介護予防日常生活支援総合事業の「訪問型サービスＡ」事業者として、主に要支援高齢者を対象に生活援助等のサービスを提供しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>前年度と比較して訪問件数は横ばい状態となっています。
新規相談１件</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>１．利用者　４名（３月末現在）
２．サービス提供月別延べ件数
<table>
<tr><td>区　分</td><td>4 月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月</td><td>8 月</td><td>9 月</td><td>10 月</td></tr>
<tr><td>(利用者数)</td><td>(5)</td><td>(6)</td><td>(6)</td><td>(6)</td><td>(6)</td><td>(6)</td><td>(6)</td></tr>
<tr><td>訪問件数</td><td>30</td><td>29</td><td>31</td><td>39</td><td>30</td><td>30</td><td>33</td></tr>
<tr><td>区　分</td><td>11 月</td><td>12 月</td><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td><td colspan="2">合　計</td></tr>
<tr><td>(利用者数)</td><td>(5)</td><td>(5)</td><td>(4)</td><td>(4)</td><td>(4)</td><td colspan="2">(63)</td></tr>
<tr><td>訪問件数</td><td>28</td><td>27</td><td>24</td><td>17</td><td>19</td><td colspan="2">337</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

⑵　障害福祉サービス関連の取り組み

①移動支援事業の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>市からの委託により、障害福祉サービス介護給付費支給決定を受けた心身障害者（児）等に対し、移動支援等のホームヘルプサービスを提供しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>前年度と比較して訪問件数は横ばい状態となっています。
新規相談は０件</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>１．契約利用者数　１名
２．月別延べ件数
<table>
<tr><td>区　分</td><td>4 月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月</td><td>8 月</td><td>9 月</td><td>10 月</td></tr>
<tr><td>(利用者数)</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(1)</td></tr>
<tr><td>移動支援</td><td>13</td><td>12</td><td>14</td><td>13</td><td>12</td><td>12</td><td>13</td></tr>
<tr><td>区　分</td><td>11 月</td><td>12 月</td><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td><td colspan="2">合　計</td></tr>
<tr><td>(利用者数)</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td colspan="2">(12)</td></tr>
<tr><td>移動支援</td><td>13</td><td>14</td><td>13</td><td>12</td><td>13</td><td colspan="2">154</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

②－１山武市福祉作業所の経営（自立訓練（生活訓練）の実施）

目的と概要	利用者に、生活訓練（作業的訓練含む）を通して、日常生活の能力を向上するための支援や相談支援を実施し、社会的自立に向けての援助サービスを提供するため千葉県の指定を受けていますが、利用者がいませんでした。
在 籍 者	０名
延出席者数	０名
開所日数	０日
職員体制	管理者　１名（社協事務局職員が兼務）※就労Ｂ型と兼務 サービス管理責任者　１名（作業所常勤職員より選出）※就労Ｂ型と兼務 臨時職員等　２名（常勤１名・非常勤１名）

②－２山武市福祉作業所の経営（就労継続支援Ｂ型の実施）

目的と概要	利用者に、作業訓練並びに生活訓練を通して、日常生活の充実と就労に関する支援を含めた社会的自立に向けての援助サービスを提供しました。
在籍者	成東１０名（うち１名１０月末退所） 山武１２名（うち１名６月末退所・１名７月新規入所） 松尾１３名
延出席者数	６，２３５名（成東 1,722 名　山武 1,827 名　松尾 2,686 名）
開所日数	２４２日（８月１６日は台風第７号により休所）
職員体制	管理者　１名（社協事務局職員が兼務） サービス管理責任者　１名（作業所常勤職員より選出） 常勤職員　３名（サービス管理責任者を除く） 臨時職員等　８名（常勤４名・非常勤４名）
その他	市担当課による評価モニタリングが実施されました。 期　日　令和６年１２月１９日（木）（市担当課２名・職員２名）

＜活動報告＞

事業実績	成東福祉作業所	山武福祉作業所	松尾福祉作業所
⑴　利用の促進	・所内行事の増設 ・広報紙による利用者募集 ・受注作業の刷新 ・利用者向け各作業所見学の機会を設けた	・社協内各部署への情報提供依頼 ・相談支援事業所等関連機関への情報提供依頼 ・特別支援学校の実習の受け入れと情報共有等	・相談支援事業所等との連携、情報提供依頼の実施 ・特別支援学校の実習受け入れ、情報提供依頼の実施 ・広報紙を利用した作業所紹介と利用者募集の実施

事業実績	成東福祉作業所	山武福祉作業所	松尾福祉作業所
⑵　工賃向上計画の推進	・自主製作品販売数の向上を図った ・受注作業の作業効率の見直し	・社協広報紙での作業募集告知及び自主製品の紹介 ・自主製品の販売網の整備（委託商品の拡充等） ・利用者の作業スキルの向上(支援・指導)と作業の効率化	・新たな自主製作品の作成及び販売 ・継続的な単価交渉
⑶　作業収入 合計 4,159,960 円	1,240,722 円	1,232,931 円	1,686,307 円
⑷　工賃支払額 合計 4,047,713 円	1,189,730 円	1,190,417 円	1,667,566 円
⑸　平均工賃 平均月 13,074 円	月 13,964 円	月 13,227 円	月 12,519 円
⑹　自主事業	・所外学習　３回 ・調理実習　３回 ・所内行事　２１回 ・健康診断　１回 ・避難訓練　１２回 ・体力作り　毎日	・所外学習　２回 ・調理実習　６回 ・所内行事　１９回 ・健康診断　１回 ・避難訓練　３回 ・テレビ体操　毎日2回	・所外学習　２回 ・調理実習　６回 ・所内行事　２２回 ・健康診断　１回 ・避難訓練　１回 ・体操　毎日2回
⑺　職員の資質向上	・職員研修の実施 ・外部研修へ参加	・職員研修の実施 ・外部研修へ参加 ・毎日の総括会議 ・月１回のケース会議	・職員研修の実施 ・外部研修へ参加 ・毎日の情報共有と反省会

＜その他＞

①入所希望の見学者や関係各機関の見学希望者の受入等
②相談支援事業者との調整
③福祉機関・教育機関などから、職場体験や実習生の受け入れの実施
④アンケートの実施

＜職員研修等＞

実施月日	行事名称	行事等の内容	参加者数
８月２３日	作業所職員全体会議	○災害時対応について	１２名
１１月１３日	福祉サービス苦情解決研修会	○苦情の対応について	３名
月１回	月例作業所支援者会議	○各福祉作業所において、月毎の支援を総括し、課題について検証する。 ○支援員の虐待防止・権利擁護に関する事項を、自己チェックシートを活用し相互確認する。	全支援員

＜代表者会議（全１２回）＞

目的と概要	市内３か所設置されている福祉作業所の情報を共有することを目的に代表者会議を開催しました。
考　察	定例会議は、障害福祉サービスを提供する上で各作業所の取り組みや問題点などの情報を共有するために必要です。定期的に開催することで、それぞれの進捗状況や成果を報告する機会になっていると考えます。
実施回数	１２回
延べ人数	延べ４８名
主な内容	１．作業所の運営について ２．送迎サービスの運行について ３．毎月１回実施する虐待防止チェックリストの評価 ４．利用者状況及び事業所活動報告について ５．研修会について

＜指定障害福祉サービス事業者等への実施指導＞

期　日	令和６年７月１８日（木）
実施場所	山武福祉作業所
実施者	千葉県
主な内容	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第１１条の規定による調査 ・実地指導の対象　山武市山武福祉作業所 ・サービスの種類　就労継続支援（Ｂ型） ＜指摘事項＞ なし

③－１山武市簡易マザーズホームの経営（児童発達支援事業の実施）

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>心身の発達に支援を必要とするお子さんに対し、いろいろな遊びや経験を重ねながら日常生活における基本的動作を習得し、集団に対応できるための活動を実施しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>様々な感染症の対策をしながらの療育となり、今まで通りにすすめることが難しい部分も多くありました。対応や内容を変更して行事等も行いましたが、今後も更なる工夫が必要だと考えています。</td></tr>
<tr><td>登録者数</td><td>２５名</td></tr>
<tr><td>利用別在籍数</td><td>児童発達支援事業：２５名</td></tr>
<tr><td>延べ利用者数</td><td>１８１２名</td></tr>
<tr><td>開所日数</td><td>２４７日</td></tr>
<tr><td>職員体制</td><td>管理者　１名（社協事務局職員が兼務）
児童発達支援管理責任者　１名
常勤職員　４名（児童発達支援管理責任者を除く）</td></tr>
<tr><td>事業実績</td><td>
<table>
<tr><th>活　動　名</th><th>実施回数</th></tr>
<tr><td>理学療法訓練（鶴岡先生　石井先生）</td><td>１２</td></tr>
<tr><td>心理発達検査・相談（島貫先生）</td><td>6</td></tr>
<tr><td>言語発達指導（西本先生　仲田先生）</td><td>１２</td></tr>
<tr><td>作業療法訓練（小林先生）</td><td>6</td></tr>
<tr><td>音楽療法訓練（宍戸先生　小林先生）</td><td>１２</td></tr>
<tr><td>内科健診（高橋医院長）</td><td>2</td></tr>
<tr><td>歯科健診（ほりずみ歯科医院　おしだ歯科医院）</td><td>1</td></tr>
<tr><td>摂食嚥下指導（山武郡市内歯科医師）</td><td>6</td></tr>
<tr><td>避難訓練（自主訓練）</td><td>１２</td></tr>
<tr><td>幼・保・学校への訪問、見学等、連携</td><td>２５</td></tr>
<tr><td>保護者活動（勉強会、年末清掃）</td><td>2</td></tr>
<tr><td>夏まつり</td><td>1</td></tr>
<tr><td>レク大会</td><td>1</td></tr>
<tr><td>クリスマス会</td><td>1</td></tr>
<tr><td>卒園を祝う会（児童発達支援事業）</td><td>1</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>市担当課による評価モニタリングが実施されました。
期　日　令和６年１２月１９日（木）（市担当課２名・職員２名）
※放課後等デイサービスを含む</td></tr>
</table>

③－２山武市簡易マザーズホームの経営（放課後等デイサービスの実施）

目的と概要	心身の発達に支援を必要とするお子さんに対し、いろいろな遊びや経験を重ねながら日常生活における基本的動作を習得し、集団に対応できるための活動を実施しました。
考　察	様々な感染症の対策をしながらの療育となり、今まで通りにすすめることが難しい部分も多くありました。対応や内容を変更して行事等も行いましたが、今後も更なる工夫が必要だと考えています。
登録者数	８名
利用別在籍数	みつばち：７名　ＰＴのみ：１名
延べ利用者数	１８６名
開所日数	２４７日
職員体制	管理者　１名（社協事務局職員が兼務） 児童発達支援管理責任者　１名 常勤職員　４名（児童発達支援管理責任者を除く）
事業実績	

活　動　名	実施回数
理学療法訓練（鶴岡先生　石井先生）	１２
言語発達指導（西本先生　仲田先生）	１２
避難訓練	1
個別指導	１９
グループ指導	２０

＜指定障害児通所支援事業者実施指導＞

期　日	令和６年６月２６日（水）
実施場所	成東老人福祉センター　第１会議室
実施者	千葉県
主な内容	児童福祉法第２１条の５の２２の規定による調査 ・実地指導の対象　山武市簡易マザーズホーム ・サービスの種類　児童発達支援　放課後等デイサービス ＜指摘事項＞ １　身体拘束等の適正化を図るための措置について ・従業者に対し、身体拘束等の適正化のための研修を定期的に実施すること ２　虐待の発生又はその再発を防止するための措置について ・従業者に対し、虐待の防止のための研修を定期的に実施すること ＜改善内容＞ 【身体拘束等の適正化を図るための措置】 １　新規採用職員に対する研修の実施＜令和６年８月１９日（月）＞ ２　第１回研修会の実施＜令和６年１２月　９日（月）＞ 【虐待の発生又はその再発を防止するための措置】 １　第１回研修会の実施＜令和６年　６月２９日（土）＞ ２　第２回研修会の実施＜令和６年１２月　９日（月）＞

④障害福祉サービス事業所の取り組み
＜虐待防止及び身体拘束の適正化に関すること＞

目的と概要	社会福祉協議会が提供する福祉サービスでの虐待を防止するための体制を整備し、利用者の人権を擁護するとともに、利用者が福祉サービスを適切に利用できるように支援することを目的に虐待防止委員会を設置し、虐待防止に努めました。
考　察	虐待防止対応責任者を配置し、利用者の人権の擁護と福祉サービスの適切な利用支援等に努めることができたと考えます。
実　績	＜虐待防止委員会＞※身体拘束適正化委員会を兼ねる 【第１回】 期　日　　令和６年７月３１日（水） 出席者　　５名 内　容　　⑴　虐待防止のための計画づくりについて ⑵　虐待防止のチェックとモニタリングについて ⑶　虐待（不適切な対応事例）発生後の検証と再発防止策の検討について ⑷　身体拘束等に関する研修について 【第２回】 期　日　　令和７年３月２４日（月） 出席者　　５名 内　容　　⑴　虐待防止マニュアルについて ⑵　虐待防止のチェックとモニタリングについて ⑶　虐待（不適切な対応事例）発生後の検証と再発防止策の検討について ⑷　身体拘束等について ⑸　令和７年度事業計画について ＜日常的な支援現場を把握するためのチェックリストの実施＞ 内　容　　⑴　労働環境・条件メンタルヘルスチェックリスト ⑵　職業性ストレス簡易調査票 ⑶　施設・地域における障害者虐待防止チェックリスト 実施回数　　月１回 対象者　　障害福祉サービス事業所職員 ＜研修会＞ 【第１回】 期　日　　令和６年６月２９日（土） 会　場　　山武福祉作業所 参加者　　１６名 講　師　　千葉県社会福祉士会相談役　竹嶋信洋氏（介護福祉士） 内　容　　虐待防止について 【第２回】 期　日　　令和６年１２月９日（月） 場　所　　成東老人福祉センター　大会議室 参加者　　１８名 内　容　　第１部　虐待防止研修 〇動画「通報の意義と通報後の対応」 第２部　身体拘束等研修 〇動画「身体的拘束等の適正化の推進」

＜感染対策に関すること＞

目的と概要	利用者の健康と安全を守るための支援が求められる障害福祉サービス事業者として、感染を未然に防止し、発生した場合は感染症が拡大しないよう、速やかに対応する体制を構築するため、感染対策委員会を設置しました。
考　察	感染予防や具体的な対策を講ずるため、研修や訓練を実施したことで、対応方法や事前に準備する必要がある物など確認することができました。 今後も定期的に実施することで、職員が適切に対処することができると考えます。
実　績	＜感染対策委員会＞ 【第１回】 期　日　　令和６年９月９日（月） 場　所　　成東老人福祉センター　第１会議室 参加者　　６名 内　容　　⑴　感染対策指針について ⑵　委員会の活動内容について ⑶　委員会の構成及び役割分担について ⑷　研修及び訓練の実施について 【第２回】 期　日　　令和６年１１月７日（木） 場　所　　成東老人福祉センター　第１会議室 参加者　　６名 内　容　　⑴　研修及び訓練の実施について ⑵　その他 ①報告事項（感染状況及び取り組み等） ②第３回委員会 ③研修・訓練 【第３回】 期　日　　令和７年１月２４日（金） 場　所　　成東老人福祉センター　第１会議室 参加者　　６名 内　容　　⑴　事業所内の感染状況及び取り組みについて ⑵　研修及び訓練の実施について ⑶　その他（次回委員会） 【第４回】 期　日　　令和７年３月１８日（火） 場　所　　成東老人福祉センター　第１会議室 参加者　　６名 内　容　　⑴　事業所内の感染状況及び取り組みについて ⑵　令和７年度事業計画について ⑶　その他 ①令和７年度委員の選出について ②令和７年度第１回委員会の開催について

	＜研　修＞ 【第１回】 期　日　　令和６年１１月１５日（金） 場　所　　成東老人福祉センター　大会議室 参加者　　１８名 担当者　　山武福祉作業所 内　容　　⑴　感染対策指針について ⑵　座学「障害福祉サービスにおける感染症対策総論」 【第２回】 期　日　　令和７年２月１４日（金） 場　所　　成東老人福祉センター　大会議室 参加者　　１６名 担当者　　松尾福祉作業所 内　容　　⑴　座学「感染経路と主な感染症・食中毒について」 【第３回】※動画配信による WEB 研修 期　日　　令和６年１２月１日から令和７年１月３１日まで 参加者　　７名 内　容　　⑴　感染対策について ⑵　食中毒の予防について ⑶　施設における感染症対策について ⑷　災害時の感染対策について ＜訓　練＞ 【第１回】 期　日　　令和６年１１月１５日（金） 場　所　　成東老人福祉センター　大会議室 参加者　　１７名 担当者　　成東福祉作業所 内　容　　⑴　連絡体制と施設外情報共有についてのまとめ ⑵　グループワーク「健康状態が気になる利用者の発生」 【第２回】 期　日　　令和７年２月１４日（金） 場　所　　成東老人福祉センター　大会議室 参加者　　１６名 担当者　　マザーズホーム 内　容　　⑴　感染対策としての手指の洗浄

４．社会福祉協議会の基盤強化

⑴　組織・運営に関すること

①評議員会・理事会・監査機能の充実

＜評議員会（全２回）＞

定時評議員会	期日等	令和６年５月２４日（金）　於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者２０名・会長・監事１名　　欠席者３名　（定数２３名）
	議　題	（１）令和５年度事業報告及び決算について

第２回	期日等	令和７年３月１４日（金）　於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者１７名・会長　　欠席者５名　（定数２２名）
	議　題	（１）令和６年度資金収支補正予算について （２）令和７年度事業計画及び資金収支予算について

＜理事会（全５回）＞

第１回	期日等	令和６年４月２６日（金）　於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者理事１３名・監事２名　欠席者理事２名　（定数１５名）
	議　題	（１）評議員候補者の選定について （２）欠員に伴う評議員選任・解任委員の選任について （３）任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選任について （４）令和５年度事業報告及び資金収支決算について
	報告事項	（１）山武市青少年育成市民会議委員の選出について

第２回	期日等	令和６年５月３１日（金）　於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者理事１４名・監事２名　欠席者理事１名（定数１５名）
	議　題	（１）社会福祉法人山武市社会福祉協議会移動支援事業所運営規程の一部改正について （２）社会福祉法人山武市社会福祉協議会介護保険法に基づく第１号訪問事業訪問型サービスＡ運営規程の一部改正について （３）山武市社会福祉協議会長表彰・感謝の資格等審査基準の一部改正について （４）第 19 回山武市社会福祉大会について （５）第 14 回山武市健康福祉まつりの実施について （６）チャリティイベントの実施について

第３回	期日等	令和６年９月３０日（月）　於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者理事１２名・監事２名　欠席者理事３名（定数１５名）
	議　題	（１）職務執行状況の報告について （２）社会福祉法人山武市社会福祉協議会有料配食サービス事業実施規程の一部改正について （３）第 19 回山武市社会福祉大会における山武市社会福祉協議会長表彰及び感謝の決定について （４）第 19 回山武市社会福祉大会の運営について （５）共同募金運動の実施について （６）印刷機のリース契約について
	報告事項	（１）後援の承認について

第４回	期日等	令和６年１２月４日（水）　於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者理事１０名・監事１名　欠席者理事５名・監事１名（定数１５名）
	議　題	（１）令和６年度歳末たすけあい募金による要支援世帯見舞金の配分について （２）令和６年度歳末たすけあい募金による福祉活動団体支援事業助成金の配分について
	報告事項	（１）後援の承認について （２）共催の承認について

第５回	期日等	令和７年３月１２日（水）於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者理事１４名・監事１名　欠席者理事１名・監事１名（定数１５名）
	議　題	（１）職務執行状況の報告について （２）役員等賠償責任保険契約の締結について （３）社会福祉法人山武市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正について （４）児童福祉法に基づく社会福祉法人山武市社会福祉協議会山武市簡易マザーズホーム（児童発達支援事業所）運営規程の一部改正について （５）児童福祉法に基づく社会福祉法人山武市社会福祉協議会山武市簡易マザーズホーム（放課後等デイサービス）運営規程の一部改正について （６）災害援護基金の積立について （７）令和６年度資金収支補正予算について （８）令和７年度事業計画及び資金収支予算について
	報告事項	（１）後援の承認について

＜監事会＞

期日等	令和６年４月２２日（月）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
出欠等	出席者２名・会長
内　容	令和５年度事業及び会計に関すること

＜評議員選任・解任委員会＞

期日等	令和６年５月１０日（金）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
出欠等	出席者４名・会長
内　容	（１）評議員の選任について

②委員会機能の充実

＜合同委員会＞（企画財政委員会及び地域福祉委員会）

期日等	令和６年５月２４日（金）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
出欠等	出席者１４名・会長　欠席者１名　欠員１名
議　題	（１）委嘱状の交付

＜企画財政委員会＞

期日等	令和６年５月２４日（金）　於：成東老人福祉センター　相談室
出欠等	出席者７名　欠員１名
議　題	（１）委員長及び副委員長の選出について （２）第 19 回山武市社会福祉大会について （３）チャリティイベントについて

＜広報委員会（全８回）＞

第１回	期日等	令和６年４月１０日（水）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者６名　欠席者２名
	議　題	（１）委嘱状の交付 （２）会報第７３号（Ｒ６年夏号）の発行について

第２回	期日等	令和６年６月５日（水）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者７名　欠席者１名
	議　題	（１）会報第７３号の校正について

第３回	期日等	令和６年７月４日（木）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者７名　欠席者１名
	議　題	（１）会報第７４号（Ｒ６年秋号）の発行について

第４回	期日等	令和６年９月３日（火）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者８名
	議　題	（１）会報第７４号の校正について

第５回	期日等	令和６年１０月４日（金）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者８名
	議　題	（１）会報第７５号（Ｒ７年新年号）の発行について

第６回	期日等	令和６年１２月２日（月）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者８名
	議　題	（１）会報第７５号の校正について

第７回	期日等	令和７年１月１５日（水）於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者８名
	議　題	（１）会報第７６号（Ｒ７年春号）の発行について

第８回	期日等	令和７年３月５日（水）　於：松尾 IT 保健福祉センター　会議室
	出欠等	出席者８名
	議　題	（１）　会報第７６号の校正について

＜地域福祉委員会＞

期日等	令和６年５月２４日（金）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
出欠等	出席者７名・会長　欠席者１名
議　題	（１）第１４回山武市健康福祉まつりについて （２）その他

③事務局体制の見直し

目的と概要	社会情勢に対応した地域福祉のあり方を見据えた効果的な事務事業の実施ができるように職員を採用し、事務局体制の見直しをしました。
考　察	新たに職員を採用したことで、人員体制の強化と安定した事業継続が行えるようになりました。 今後、職員が成長しながら長期的に働けるような環境づくりに努めていきます。
実　績	事務局職員の採用（３名）

④社会福祉協議会発展・強化計画の推進

目的と概要	社会福祉協議会の将来像や目的を明らかにし、組織・事業・財務等に関する取り組みを明示した５か年計画を策定しました。
考　察	職員に計画内容を意識して事業の展開を行っていくような意識付けが足りなかったと思います。地域福祉活動計画と連動して各活動をすすめられるように取り組む必要があると考えます。
実　績	＜第１次山武市社会福祉協議会発展・強化計画＞ 〇第４次地域福祉活動計画との整合性を持ちながら計画を推進 〇地域福祉活動計画の地区別計画の推進

⑤事務所の検討

目的と概要	事務局のある成東老人福祉センターは、老朽化により市では機能移転後建物を撤去する予定であるため、社会福祉協議会の新たな拠点となる事務所の確保が急務となっています。
考　察	事務局だけではなく、社会福祉協議会全体として、事務事業の効率を考慮した拠点の確保ができるように、定期的に行政と協議する機会を持ち、社会福祉協議会としての要望を伝えていく必要があると考えます。
実　績	行政との協議（１回）

⑵　財務に関すること

①月次収支状況の分析

目的と概要	毎月末日における合計残高試算表及びサービス区分ごとの月次試算表を作成し、収支状況の確認及び分析を行いました。
考　察	月次試算表、合計残高試算表を毎月作成し預貯金残高の確認等を行い適切な財産管理を行うことで、年度末の予算執行状況における事業達成状況を迅速に把握することができ決算時の負担軽減を図ることができました。 また、昨年度に引き続き社会情勢の変化等による会費、募金等の減少がみられた一方で大口寄付があり一般財源の増加に繋がりました。支出においては実施事業数の増加、および物価の高騰等による支出の増加がみられました。
実　績	・現金及び預貯金の確認（毎月） ・貸借対照表科目の整理（毎月） ・合計残高試算表の作成（毎月） ・月次試算表の作成（毎月）

②指定管理施設の運営分析

目的と概要	指定管理者として適切に指定管理施設の運営ができているか否か分析を昨年度に引き続き行いました。
考　察	再度（令和４年度から令和８年度まで）指定管理者として選定されたため、計画、市条例等に従い概ね適切に管理運営を行いました。
実　績	・市への月次報告書の提出 ・年度評価の実施

③会員加入促進（会員募集）

目的と概要：社会福祉協議会の財源は会費、補助金、共同募金配分金が主なものである中で特に自主財源確保の基盤として、山武市に居住する方並びに社会福祉に関心を有し本会の趣旨に賛同する方に対し会員募集を行いました。

考　察：世帯数、区・自治会への未加入等社会情勢等の変化もあり、一般会費については、年々縮小傾向にあることが実績減の要因と考えます。未協力地区への再依頼は、引き続き実施していきます。
なお、賛助会費については会員数及び会費額は増加しています。

実　績：

種類	一口(円)	６年度（A）		５年度（B）		比較(A－B)	
		会員数	会費額(円)	会員数	会費額(円)	会員数	会費額(円)
一般会員（各世帯）	500	9,702	4,348,055	9,738	4,374,662	△36	△26,607
賛助会員(役職員・マイクロ)	1,000	89	218,000	83	203,000	6	15,000
特別会員(篤志家・会社)	5,000	1	5,000	1	5,000	0	0
計		9,792	4,571,055	9,822	4,582,662	△30	△11,607

④赤い羽根共同募金運動の実施

目的と概要	地域の誰もが幸せに安全で安心して暮らしていける明るい社会を実現するために思いやりとたすけあいの心を持ち寄る運動として募金活動を実施しました。
考　察	昨年度に引続き街頭募金を実施しました。健康福祉まつりは荒天のため中止となりイベント募金ができませんでしたが、新たにゴールドクラブの事業の会場でイベント募金を実施することができました。その他についても例年どおり実施することができました。 今後さらに多くの方々にご協力いただけるよう工夫していきます。
実　績	単位：円

種別	６年度募金額（A）	５年度募金額（B）	比較（A－B）
戸別募金	4,176,875	4,370,590	△193,715
街頭募金	21,307	4,793	16,514
法人募金	1,455,500	1,479,500	△24,000
学校募金	163,888	138,957	24,931
職域募金	52,933	36,745	16,188
イベント募金	700	0	700
個人募金	156,175	7,381	148,794
その他	387,441	45,301	342,140
合　　計	6,414,819	6,083,267	331,552

＜街頭募金＞

実施日	令和６年１０月１日（火）
場　所	ＪＲ成東駅前
活動者	１２名（市職員・社協会長・理事・社協職員）

実施日	令和６年１０月６日（日）
場　所	オライはすぬま
活動者	１４名（理事・監事・社協職員）

＜法人募金＞

実施日	令和６年１１月～
場　所	市内全域
活動者	１３地区社会福祉協議会福祉推進員

⑤歳末たすけあい募金運動の実施

目的と概要	共同募金運動の一環として「新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう、市民の参加や理解を得て様々な福祉活動を重点的に展開する。」ことを目的に募金活動を実施しました。 山武市では特に支援を必要としている在宅者への歳末見舞金贈呈事業及び福祉関係団体の活動費助成などを行いました。
考　察	募金活動は例年どおり実施することができましたが、年々募金額が減少しています。福祉関係団体活動助成については、コロナ禍前の助成基準であった地域住民との交流事業を対象に変更しましたが、依然地域住民との交流が難しい福祉事業所が多く、助成団体が減少しています。福祉団体助成事業の内容について、見直しが必要と考えられます。
募金実績	単位：円

種　別	６年度募金額（A）	５年度募金額（B）	比較（A－B）
戸別募金	1,778,440	1,829,946	△51,506
その他の募金	382	13,506	△13,124
前年度繰越金	230,120	349,970	△119,850
合　　計	2,008,942	2,193,422	△184,480

助成実績

単位：円

助成先	６年度（A）		５年度（B）		比較（A－B）	
	件数等	助成額	件数等	助成額	件数等	助成額
在宅者見舞金	107 件	535,000	116 件	580,000	△9 件	△45,000
福祉活動団体支援事業	54 団体	1,100,000	66 団体	1,161,400	△12 団体	△61,400
経費		29,880		21,902		7,978
剰余金・繰越金		344,062		430,120		△86,058
合　　計		2,008,942		2,193,422		△184,480

⑥日本赤十字社社資募集運動の実施

目的と概要	生命と健康を守り、人間の尊重を確保するとともに、全ての国民間の相互の理解、友情、協力および堅固な平和を助長すること等を目的とし、その目的を果たすための事業活動資金として、社資募集運動を実施しました。
考　察	法人社資の募集方法について、振り込み方式へと変更にしたことから、実績が大きく低下した。これまで同様の協力が得られるよう、啓発活動に力をいれたい。
実　績	単位：円

種別	６年度（A）		５年度（B）		比較（A－B）	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一般会費	9,487	4,166,819	9,711	4,311,480	△224	△144,661
法人会費	12	46,000	155	501,500	△143	△455,500
合　計	9,499	4,212,819	9,866	4,812,980	△367	△600,161

⑦チャリティイベントの実施

目的と概要	市民の主体と参加によるイベントを開催し、福祉に関する意識をもっていただくとともに、市民相互の親睦と交流及び健康の保持を図ることを目的とします。
考　察	チャリティイベントの実施を継続していき、財源確保に努めます。また、より多くの方々に社会福祉協議会を知ってもらうため、固定化されたスポーツに限らず、様々なチャリティイベントを考案する必要があります。
実　績	①第１６回チャリティゴルフコンペ 期　　日　　令和６年１０月１７日（木） 場　　所　　山田ゴルフ倶楽部 参 加 者　　７３名 寄 付 金　　９９，５２０円 実行委員　　１６名【実行委員会２回】 ②第１１回チャリティグラウンドゴルフ大会 期　　日　　令和６年１１月１２日（火） 場　　所　　成東総合運動公園 参 加 者　　１２３名 寄 付 金　　２６，２１７円 実行委員　　１６名　【実行委員会２回】

⑧自主財源の確保（その他）

目的と概要	財務基盤強化に向け自主財源の確保を積極的に行うとともに、省エネ対策と無駄を省いた事務の合理化を行い適切な支出に努めました。
考　察	ミニ福祉バザーを開催し自主財源の確保に努めました。また職員一丸となり省エネ対策に取り組みました。 また実習生の積極的な受入れ、外部講師としての職員派遣等を行なった結果自主財源が増加しました。
実　績	・プチ福祉バザーの開催（随時） ・実習生（社会福祉士養成）の受入れ（随時） ・外部研修の講師としての職員派遣（随時） ・関係組織委員会、調査会等の委員の受任（随時） ・省エネ対策（通年）

⑨寄附金品

区分	件数	金額	備考
現　金	３４件	１，７３７，５１５円	
物　品	７０件	内訳：米・野菜・食料品・日用品等 生活困窮者支援に活用／食糧支援 190 件、物資提供 7 件	
その他（資源リサイクル）		プルタブ・アルミ缶・ペットボトルキャップ等	
考　　察		今年度は１円玉募金以外の寄付金も多く寄せられました。 また、物品では日用品の寄付が多く、生活に困っている方の支援等に活用しました。食品等は生活が苦しい方々へ食糧支援を行ないました。資源リサイクルへの協力はペットボトルキャップが多く寄せられました。	

⑶　人材確保・育成に関すること

①人材確保・育成（実習生の受け入れ）

目的と概要	各資格取得プログラムの一環や福祉現場の体験学習として、社会福祉活動の各現場で実習生の受入を行いました。

＜社会福祉士資格＞

所　属	人員	期　間	内　容
城西国際大学	１名	9/2～10/31 （24 日間 180 時間以上）	全部署における援助技術現場実習
淑徳大学総合福祉学部	１名	8/21～10/30 （24 日間 180 時間以上）	全部署における援助技術現場実習

＜臨地実習＞

所　属	人　員	期　間	内　容
城西国際大学看護学部	３４名	6/8～3/31 （2 日間延べ 70 日）	全部署における現場体験実習

②役職員研修会の実施

目的と概要	当協議会の今後の取組みの参考にするため、重層的体制整備及び孤独孤立支援に向けた地域福祉とコミュニティソーシャルワークについての研修会に参加しました。
考　察	今回の研修では、先進地の香取市社会福祉協議会及び富里市社会福祉協議会からの実践報告を聞くことができました。 今後も積極的に研修会へ参加し、職員の資質向上に努めていきます。
期　日	令和６年１２月７日（土）
場　所	千葉県社会福祉センター
参加者	役員３名　職員１３名
内　容	○第２０回房総地域福祉実践研究セミナー

③職員研修会の実施

目的と概要	社会福祉協議会職員としての意識向上を図るため、外部研修等に参加しました。また、障害福祉サービス事業所では、研修会等を開催し、適切な支援ができる体制づくりに努めました。
考　察	外部研修について、コロナ禍以降オンラインでの開催や参集型の研修も増え、業務の状況により選択して参加できる環境となりました。 外部研修に参加した後は、研修を振り返るため復命書の提出を実施しており、研修内容を職員に伝達することで、知識の共有化を図ることができたと考えます。
内　容	・外部研修への参加 ・オンラインによる研修会への参加 ・虐待防止研修及び感染対策研修等の開催（再掲）

⑷　広報・啓発に関すること

①広報誌「きずな」の発行

目的と概要	社会福祉協議会事業ＰＲ及び寄付、募金の報告などを掲載し市民へ情報発信しました。
考　察	今後も読みやすく、魅力ある紙面づくりに努めます。
発行回数	４回（夏号・秋号・新年・春号）
発行部数	１回につき１２，０００部
配 布 先	市内全世帯（新聞折込み）・市内公共機関等
印刷業者	株式会社　白樺写真工芸

②リーフレット・チラシの作成

目的と概要	社会福祉協議会及び事業への理解と周知を図ることを目的にリーフレットやチラシを作成しました。
考　察	既存の「山武市社会福祉協議会のしおり」について、事業内容の見直しを行い、関係団体や実習生などに配布し、社会福祉協議会の周知を図りました。
実　績	市民の皆様等に向け、本所・連絡所等へ設置配布しました。

③ホームページの充実

更新回数	１８回
目的と概要	社協事業に関する情報を広く発信しました。
考　察	随時更新し、発信することができました。

④第１９回山武市社会福祉大会の開催

目的と概要	多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表するため実施しました。 また、市内小中学生から地域ぐるみ福祉のまちづくり作品（作文・標語・ポスター）を募集し、福祉の啓発を図るとともに受賞者への表彰を行いました。
考　察	例年行っています表彰の他に、地域で活動している団体の発表や日頃福祉活動をされている方々へ感謝するため抽選会を実施しました。 前年度の反省を踏まえ抽選会の方法を見直ししたことで、大会がスムーズに進行することができたと考えます。
主　催	山武市・山武市社会福祉協議会
期　日	令和６年１１月１９日（火）
会　場	成東文化会館のぎくプラザ
参加者	２００名
内　容	＜大会＞ ○表彰 山武市社会福祉協議会長表彰状贈呈　２２名 山武市社会福祉協議会感謝状贈呈　２７名 標語・作文・ポスター入賞者表彰及び記念品贈呈　８名 ○地域活動発表 南郷地区社会福祉協議会 手話サークル「ひまわり」 ○おたのしみ抽選会 ＜展示＞ ○期間　令和６年１１月１４日（木）から１１月２０日（水） ○場所　成東文化会館のぎくプラザ　ふるさとコーナー ○内容　・地域ぐるみ福祉のまちづくり作品（作文・標語・ポスター） ・山武市社会福祉協議会事業紹介 ・山武市福祉作業所紹介 ・山武市簡易マザーズホーム紹介 ＜会議＞ ○企画財政委員会　１回

⑤第１４回山武市健康福祉まつりの実施

目的と概要	市民の主体的な参加を促進し、地域福祉活動の一環として開催することにより、住民福祉の向上と福祉意欲及び健康意識の高揚を図り、あわせてその普及と振興に努めることを目的に実施するため準備をすすめてきましたが、荒天により中止になりました。
主　催	山武市・山武市社会福祉協議会
期　日	令和６年１０月２０日（日）　※荒天の影響を考慮し中止
場　所	松尾交流センター
来場者	
内　容	テーマ『地域から始めよう　健康と福祉のまちづくり』 ・ステージ発表　　１１グループ ・企画ブース（模擬店など）　３８団体　５２区画 （各福祉団体等の紹介、福祉バザー・健康コーナー・社協コーナー等）
会議等 開催状況	①企画実行スタッフ全体会議　・　７月１２日（金） ②運営スタッフ会議　・　７月２６日（金） ③企画実行総務班　・　７月１２日（金）・８月　５日（月） ④企画実行ステージ班　・　８月　６日（火）・９月１２日（木） ・１０月１２日（土） ⑤企画実行会場班　・　７月２９日（月）・９月１０日（火） ・１０月１２日（土） ⑥企画ブース出展者説明会　・　９月２５日（水） ⑦ステージ参加者説明会　・　９月１９日（木）

⑥出前講座の実施

目的と概要	地域に出向き、出前講座を行うことにより市民の福祉に対する理解を深めることを目的に実施しました。
考　察	将来、地域を担う生徒たちに、街のことを知ってもらう良いきっかけでもあるため、継続していくことが大切と考えます。

＜第１回＞

日　時	令和６年６月２０日（木）１３時３０分～１４時３０分
場　所	千葉県立松尾高等学校
参加者	２２名
内　容	①ボランティア入門について講義 ・ボランティアの歴史、定義、活動の４原則、知っておきたいポイント等 ②地域福祉計画・活動計画について ・計画のポイントと市民参加のまちづくりについて

＜第２回＞

期　日	令和７年２月１０日、２６日、２８日（２枠）、３月３日（２枠）
場　所	千葉県立成東高等学校
参加者	約２５０名（全６回）
内　容	①ボランティア入門について講義 　・ボランティアの歴史、定義、活動の４原則、知っておきたいポイント等 ②地域福祉計画・活動計画について 　・計画のポイントと市民参加のまちづくりについて

⑸　福祉団体の支援

目的と概要	社会福祉協議会では、ボランティア連絡協議会、身体障害者福祉会、手をつなぐ親の会、赤十字奉仕団、ゴールドクラブ連合会の事務局を担い、支援を行いました。
考　　察	新型コロナウイルス感染症が収束し、各団体の事業も概ね計画どおり実施しました。

①山武市ボランティア連絡協議会

実　績	会員数　４０６名（前年度：３３６名） 内訳：３０グループ　３９２名　個人１４名 ○第１９回総会（文書にて承認を得る。） ○実施事業・役員会議　　９回 ・お茶べり会　　２回 ・災害支援ボランティア講座（社協と共催）１回 ・ボランティア活動発表会　１回

②山武市身体障害者福祉会

実　績	会員数　３７名 ・事業及び会計監査（4/15） ・総会（4/25） ・納涼会（8/27）※中止 ・健康福祉まつりへの出展（10/20）※中止 ・山武地域福祉バザーへの参加（11/3） ・山武市社会福祉大会への参加（11/19） ・山武地区スポーツ（モルック）体験交流会（12/10） ・友愛訪問（12 月全会員宅訪問） ・新年会（1/27） ・いちご狩り（3/25） ・千葉県障害者スポーツ大会への参加 ・千葉県在宅重度障害者慰問品贈呈事業（12 月） ・役員会４回（4/15、7/8、10/16、12/16） ※SDGｓ活動（資源回収）運動実施 ※学校福祉教育事業協力 ※会員増員運動実施

③山武市手をつなぐ親の会

実　績	会員数　５３名（賛助会員含む） ・総会（5/30） ・クリスマス会実施（12/22） ・役員・定例会（毎月）の開催 ・山武郡市連絡協議会、千葉県育成会主催事業等への参加

④山武市赤十字奉仕団

実　績	団員　１２名 ・事業及び会計監査（5/28） ・総会（5/28） ・役員会 10 回 （4/11，7/3，8/7，9/4，10/2，11/6，12/4，1/8，2/12，3/12） ・山武市一日赤十字（8/28） ・視察研修（9/5） ・東南ブロック事業（赤十字のつどい）への参加（6/7） ・山武市防災訓練への参加（11/7） ・千葉県支部事業への参加 ・包帯法救急法の練習　15 回

⑤山武市ゴールドクラブ連合会

実　績	クラブ数　５２クラブ　会員１，６６７名 ＜会議＞ ・総会（4/24） ・役員会５回 ・専門部会１３回 ＜市事業＞ ・県老連特選演芸会（7/2） ・囲碁・将棋大会（7/30） ・スポーツ大会（グラウンドゴルフ大会 7/25、ペタンク大会 9/26） ・芸能・カラオケ大会（10/2） ・親睦旅行（10/22） ・山武市社会福祉大会（11/19） ・いきいきわくわく教室　４回（6/7、8/21、10/9、12/13） ＜山武地区事業＞ ・山武地区老人クラブ役員連合会総会（6/21） ・山武地区高齢者囲碁・将棋大会（8/30） ・山武地区高齢者グラウンドゴルフ大会（9/20） ・山武地区高齢者芸能大会（11/7） ・山武地区役職員県外研修（12/12・13） ＜県事業＞ ・千葉県なのはなペタンク大会（10/17） ・千葉県高齢者グラウンドゴルフ大会（11/27） ・千葉県シニア囲碁・将棋大会（12/9） ・千葉県老人クラブ大会（1/20）

⑹　第４次地域福祉活動計画の推進

①山武市地域福祉活動計画推進委員会

目的と概要	地域福祉活動計画に基づき地域住民の主体的な活動やコミュニティづくり活動の推進を行い、多様な地域福祉活動や住民活動の活性化に努めました。
考　察	第４次地域福祉計画・地域福祉活動計画の実施に伴い、初めての評価年度となりました。地域福祉活動計画における地区別計画の評価については地区社会福祉協議会の協力で新たな評価基準を作成し評価することができました。今後、各地区の福祉活動を地域の中で見直すことができるようになりました。
実　績	＜山武市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会＞ 【第１回】 期　日　令和６年６月２５日（火） 場　所　山武市役所 第６会議室 出　欠　出席８名 内　容　⑴　地域福祉計画・地域福祉活動計画について ⑵　今後の年間予定について ⑶　山武市地域福祉活動推進助成事業に伴う プレゼンテーションについて ⑷　その他 【第２回】 期　日　令和７年３月２１日（金） 場　所　山武市役所 第６会議室 出　欠　出席７名 内　容　⑴　第４次地域福祉計画・地域福祉活動計画評価について ⑵　令和６年度地域福祉活動推進助成事業実績報告について ⑶　その他

②地域共生社会の推進と地域包括ケアシステムの構築

目的と概要	高齢者が要介護状態になっても住み慣れた場所で自分らしい暮らしを最後までおくれるように、医療・介護・予防・住まい・生活などの支援が確保される体制として「地域包括ケアシステム」の構築に努め、計画の基本理念である「だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり」を推進しました。
考　察	行政の関係各課や市内の関係事業所、ＮＰＯ法人等との連携により、高齢者の支援を行う中での課題解決に努めました。また、複雑化する世帯の相談に対し多様な相談窓口が連携を取り対応するための重層的支援体制整備事業の検討が必要と考えます。
実　績	＜北総圏域［印旛・香取・海匝・山武］合同地域共生社会推進にかかる勉強会＞ 期　日　令和６年８月６日（火） 場　所　東金市保健福祉センター　多目的室 内　容　⑴　説明「千葉県の重層的支援体制整備事業におけるバックアップ事業について」 ⑵　基調講演「地域共生社会～その人をど真ん中により幸せを応援するために～ 厚生労働省社会援護局地域福祉課共生社会推進室 支援推進官　犬丸　智則　氏 ⑶　グループワーク ＜令和６年度千葉県地域包括ケアシステム体制整備事業に係る市町村等職員研修会＞ 期　日　令和６年１０月２１日（月） 場　所　オンライン Zoom により視聴研修 内　容　第１部　介護予防・日常生活支援総合事業Ⅰ ⑴ 講演「地域共生社会の実現に向けた介護予防・日常生活支援総合事業のあり方 ～三方よし型社会参加・生きがいづくりとは～」 東京都健康長寿センター研究所副所長 東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター長 ⑵ 実践報告「御宿町におけるボランティアポイント事業」 御宿町保健福祉課　主任保健師 第２部　介護予防・日常生活支援総合事業Ⅱ ⑴ 講演「今、改めて通いの場を考える ～既存資源の発掘と専門職の支援による機能強化～」 東京都健康長寿センター研究所 東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター 副センター長 ⑵ 実践報告「香取市における集いの場の拡大・活性化の取組」 香取市高齢者支援課